DENON

テーブルトップシングルCDプレーヤー

DN-S3500

取扱説明書

はじめに

接続

準備

操作のしかた

その他

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。


警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。


注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

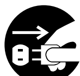
【絵表示の例】



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



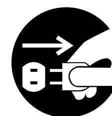
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警 告

■ 安全上お守りいただきたいこと

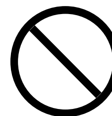
万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。


電源プラグをコンセントから抜け

内部に異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



水が入ったり、濡らしたりしないように

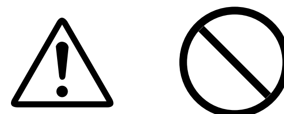
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



⚠ 警 告 つづき

■ 安全上お守りいただきたいこと

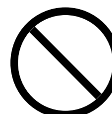
電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



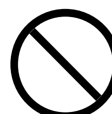
ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら
電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



落としたり、キャビネットを破損した場合は
まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■ 取り扱いについて

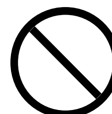
風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。


水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



この機器の上に小さな金属物を置かない
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

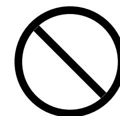


安全上のご注意（つづき）

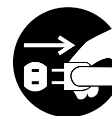
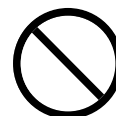
⚠ 注 意

■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近づけない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



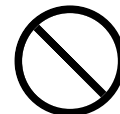
電源プラグを抜くときは
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



レーザー光源をのぞき込まない
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。



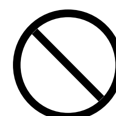
機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

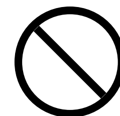


電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない
電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となります。

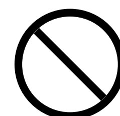



■ 置き場所について

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ



壁や他の機器から少し離して設置する
壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



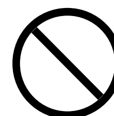
注意 つづき

■ 取り扱いについて

通風孔をふさがない

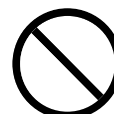
内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する



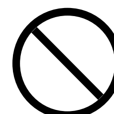
この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



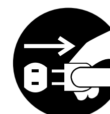
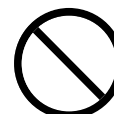
重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

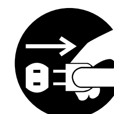
オーディオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



■ 使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

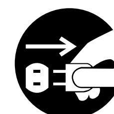
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



■ お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。



2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは
冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は
冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



■ 結露後の処置は
◎ 結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1〜2時間で使用できるようになります。
◎ ディスクに露がついている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

■ テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、しま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってご覧ください。

FMやAM放送を受信している場合

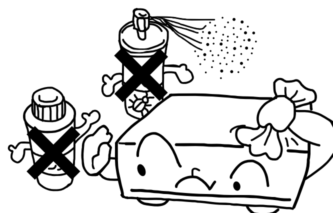
■ FMやAM放送を受信しているとき、本機の電源が入っているとFMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときは電源を切ってください。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

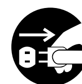
◎ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。

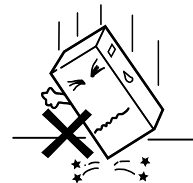


使わないときは

■ ふだん使わないとき
◎ 必ずディスクを取り出し、電源を切ってください。
◎ 外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



■ 移動させるとき
◎ 衝撃を与えないでください。



◎ 必ずディスクを取り出し、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。

3 主な特長

DN-S3500は先進的な数多くの機能を備えたテーブルトップ型のDJ用シングルCD/MP3プレーヤーです。

■ 構造について

1．アクティブモータープラッター

再生を開始すると、アナログターンテーブルと同じようにプラッター（ターンテーブル）が回転します。モーター駆動プラッターとスリップマット、スクラッチディスクから構成されたアクティブモータープラッターは、再生開始ポイントの頭出しや曲のビート合わせ、そしてスクラッチ再生とアナログターンテーブルと同じ感覚で操作することができます。

2．ハイトルクダイレクトドライブモーター

新開発のハイトルクダイレクトドライブモーター搭載により、プラッターの俊敏な立ち上がりを可能にします。

3．プラッターの回転速度が選択可能

お好みに合わせて、プラッターの回転速度を33回転または45回転に設定することができます。

■ 機能について

DN-S3500は、高速DSPと大容量メモリを搭載することにより、数多くの機能を搭載しています。

以下に主な機能を簡単に解説します。

1．スクラッチ再生

アクティブモータープラッターにより、アナログターンテーブルと同じ感覚でスクラッチ再生することができます。

スクラッチソースとしてメイントラック、サンプラー（2ウェイスクラッチ）選択可能です。

2．MP3再生

DN-S3500は、規定のフォーマットで作製されたMP3ディスクを再生することができます。通常のCDと同様の再生をおこなうことができます。また、多彩なファイルサーチ（ファイルサーチ、ファイル/フォルダーサーチ、アーティストネームサーチ、タイトルネームサーチ、ファイルネームサーチ）により、容易にファイル検索をすることができます。また、ID-3タグのデータを表示することもできます。

3．ネクストトラック

再生を継続したまま、次に再生するトラックの先頭にスタンバイし、再生が途切れることなく、次のトラックの再生を開始させることができます。また、再生の入れ替えをクロスフェードさせることもできます。

4．ホットスタート、スタッター

“ ホットスタート ”とは、あらかじめ設定したA1またはA2ポイントから瞬時に再生を開始する機能です。設定したホットスタートポイントを“ スタッター ”として使うこともできます。スタッターとは、ホットスタートで設定したポイントからボタンを押し続けている間だけ再生する機能です。また、CUE（スタンバイ位置）ポイントからもスタッター再生することができますので、3ポイントでスタッター再生することができます。

5．シームレスループ

再生中に設定したA1ポイントとB1ポイントまたはA2ポイントとB2ポイントの間で、音途切れ無しのループ再生をおこなうことができます。

6．サンプラー

CDから直接デジタル録音される15秒のオンボードサンプラーが装備されています。

このサンプラーはシームレスループ、リバース再生が可能な上、再生ピッチ、再生レベルを設定することも可能です。

また、CDシームレスループに設定した音源を容易にサンプラーにコピーする機能を備えています。

7．Bトリム

シームレスループのBポイント、サンプラーのBポイントを再生中に調整することができます。

8．オートBPM

曲のBPMを自動的に検出することが出来ます。

また、TAPボタンをたたいての入力や直接BPMの値を入力することも可能です。

9．エフェクター

6種類のエフェクターを搭載しています。

ECOH/LOOP(エコー/ループ)：ECHOとLOOP機能が選択できます。
フィードバック時間とフィードバック回数が選択できます。
フィードバック回数をMAXにすると、フィードバック時間でのループ再生を行うことが出来ます。

FLANGER(フランジャー)：フィードバック時間とフィードバックゲインが選択できます。

FILTER(フィルター)：3種類のフィルター(ローパスフィルター、ハイパスフィルター、ミッドパスフィルター)が選択できます。

10．プラッターエフェクト（プラッターモード）

主にアナログターンテーブルの再生をシミュレートするエフェクト機能です。

BRAKE（ブレーキ）：

ターンテーブルが再生状態からゆっくり再生を停止する状態をシミュレートします。停止時間の調整が可能です。

DUMP（ダンプ）：

リバース再生とフォワード（通常）再生を組み合わせたエフェクト再生です。
リバース再生からフォワード再生に切り換えると、フォワード再生開始位置がリバース再生を開始した時間からリバース再生で戻った時間と同じ時間進んだ位置から再生を開始するので、リバース再生とフォワード再生を繰り返しても、ビートを保ったままリバース再生をエフェクトとして挿入することができます。

RVS（リバース）：

リバース再生おこなうことができます。

11．クイックジャンプ機能

再生位置を指定時間でジャンプすることができます。再生位置を容易に移動することができます。
ジャンプ時間はプリセットで選択できます。

12．メモ機能

あらかじめ好みのホットスタートポイントやシームレスループのA、Bポイントなどを記憶し、ライブなどで呼び出し自動セッティングする機能です。
メモは1トラックにキューポイント、ホットスタート、シームレスループのA、Bポイント、再生スピード（ピッチ）データ、キーアジャストデータなどを1メモリとして、最大5000メモリまでメモリに記憶できます。

13．再生スピード（ピッチ）/キーアジャスト

ピッチ：

ピッチスライダーで再生スピードを変えることができます。
ピッチのレンジは±4、±10、±16、±24、±50、±100%から選択することができます。

キーアジャスト：

ピッチスライダーで再生スピードを変えても、曲のオリジナルの音程を保ちながら再生することができます。

14．デジタルアウト

デジタルアウトはモードや再生スピードなどで制限されることなく、常時44.1kHzで出力されます。

15．FADER START端子

フェーダースタート出力を備えたミキサーと接続して、フェーダースタート再生をおこなうことができます。

16．プリセット

DN-S3500の電源投入時の状態、モード、個々の設定などをメモリに記憶し、ユーザー個々にDN-S3500をカスタマイズできます。記憶できる項目は、33ページの『プリセット機能』を参照ください。

17．CD TEXT（CDテキスト）

テキストデータを表示することができます。

4 付属品について

★ 梱包箱の中には、本体とは別に下記の付属品が入っています。ご使用の前にご確認ください。

① アルミプラッター ································1
② スクラッチディスク······························1
③ スリップマット···································1
④ アダプターキット··································1
　(1)アダプター(A) ································2
　(2)アダプター(B)※ ······························1
　(3)固定板※··1
　(4)ネジ※···3
　(※は、17cmアナログレコード用)
⑤ ピンプラグコード··································1
⑥ 取扱説明書（本書） ······························1
⑦ 製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表··········1
⑧ 保証書···1

5 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

ステレオ音のエチケット



◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

6 設置/接続のしかた

(1) アルミプラッター、スクラッチディスクおよびスリップマットの取り付け

付属品
① アルミプラッター ·····························1
② スクラッチディスク ···························1
③ スリップマット ·······························1
④ アダプター（A）　······２（１個は予備部品です。）

1 アルミプラッターをモーターのテーパボスに挿入し、装着させます。
2 スリップマットをアルミプラッターの上に置きます。
3 スクラッチディスクをモーターの軸のＤ形状部に挿入します。
※ スクラッチディスクのグルーブ（溝）印刷面がスリップマット面に接触するように取り付けてください。
4 アダプター（Ａ）を図２の矢印方向に押し込み、装着させます。
※ アダプター（Ａ）の挿入方向を間違わないようにしてください。

ご注意

- モーターには、触らないようにしてください。
- アルミプラッターを装着しない状態で、電源を投入しないでください。
- アルミプラッターを装着した状態で、持ち運びをおこなう場合は、アルミプラッターが脱落しないようにご注意ください。

図1

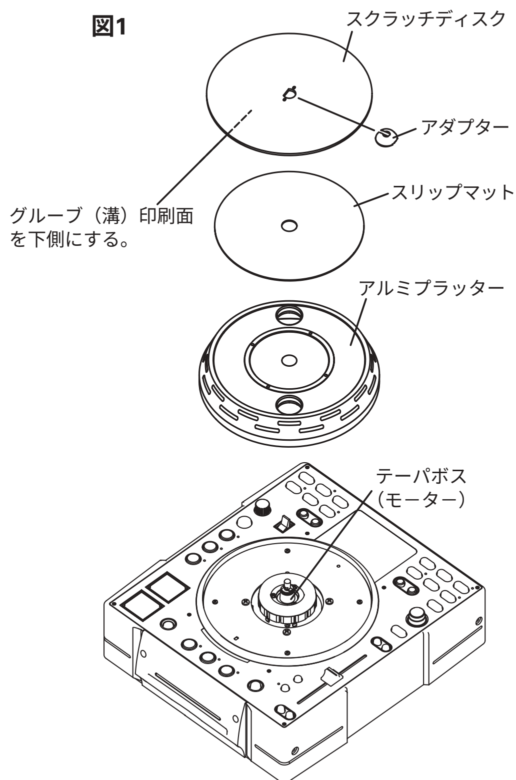


図2

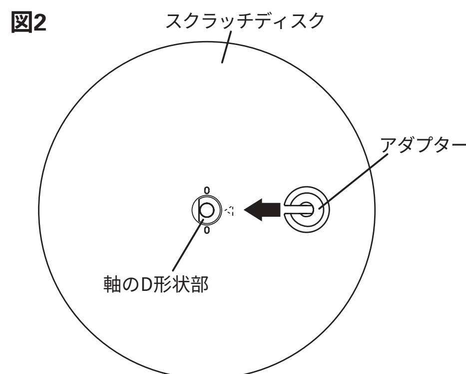
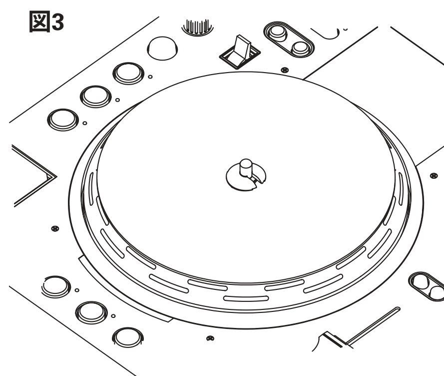


図3



(2) 設置

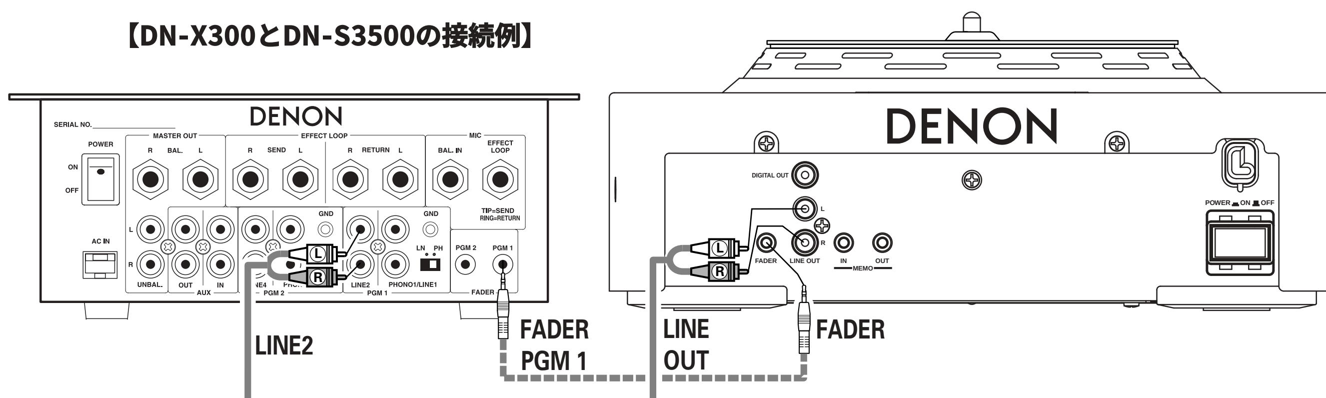
DN-S3500は、水平に設置してください。傾けて設置するとディスクが正常にローディングできない場合があります。

設置/接続のしかた（つづき）

(3) 接続のしかた

① POWERスイッチで電源を切ります。
② DN-S3500のRCA出力とミキサーの入力を接続します。
③ ミキサーにフェーダー出力端子がある場合は、DN-S3500のフェーダー入力端子と3.5mmステレオミニコードで接続します。
DN-S3500をフェーダーコントロールすることができます。

【DN-X300とDN-S3500の接続例】



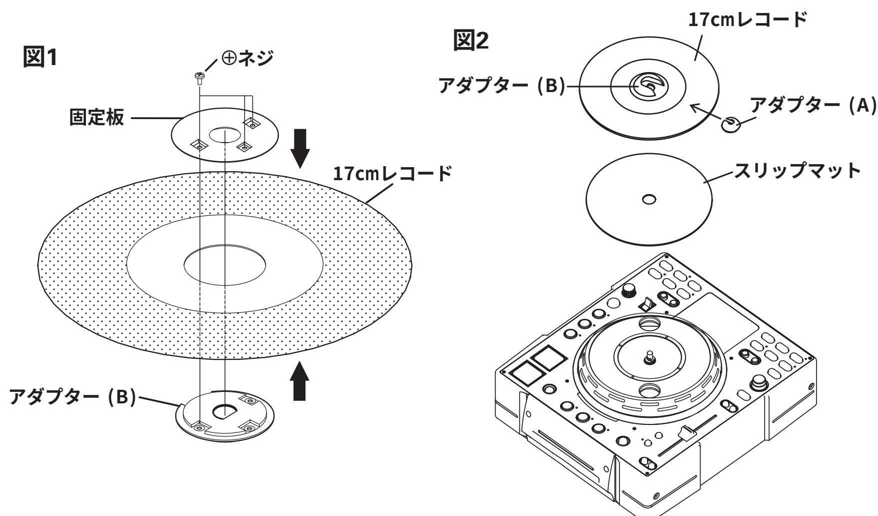
(4) アナログレコード（17cm）用アダプター取り付けについて

あなたのアナログレコード(17cm)を付属のアダプターを使用することにより、本製品に取り付けることができます。

アナログレコード(17cm)用アダプター付属品
① アダプター(B) ·······························1
② 固定板 ··1
③ ⊕ネジ ··3

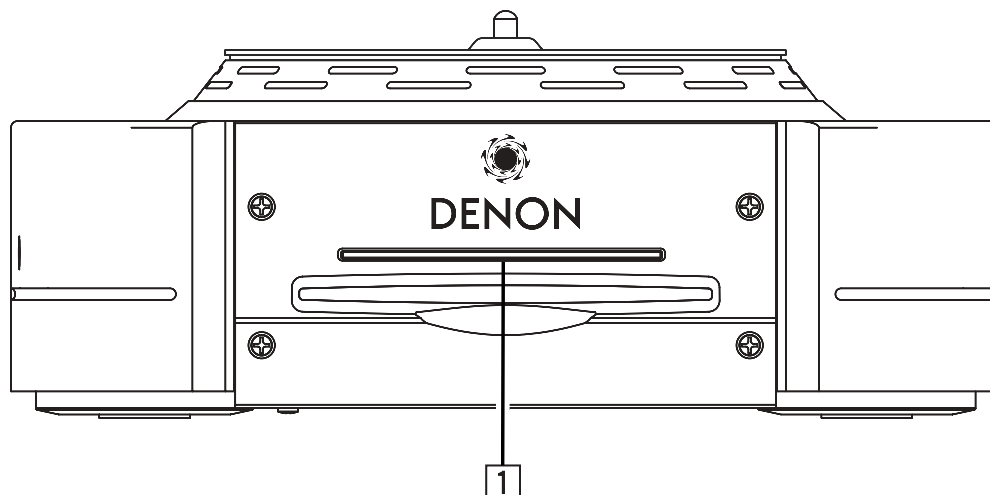
1．アナログレコード(17cm)の穴にアダプター(B)を装着させます。
2．固定板をネジでアダプター(B)に取り付けます。
3．アダプター(B)をモーターの軸のD形状部に挿入します。
4．アダプター(A)を装着させます。

ご注意
- ソリがあるアナログレコードは使用しないでください。
- 使用するアナログレコードによって、スリップマットとの摩擦が変化します。
- 使用するアナログレコードによっては、正常に再生できない場合があります。



7 各部の名前とはたらき

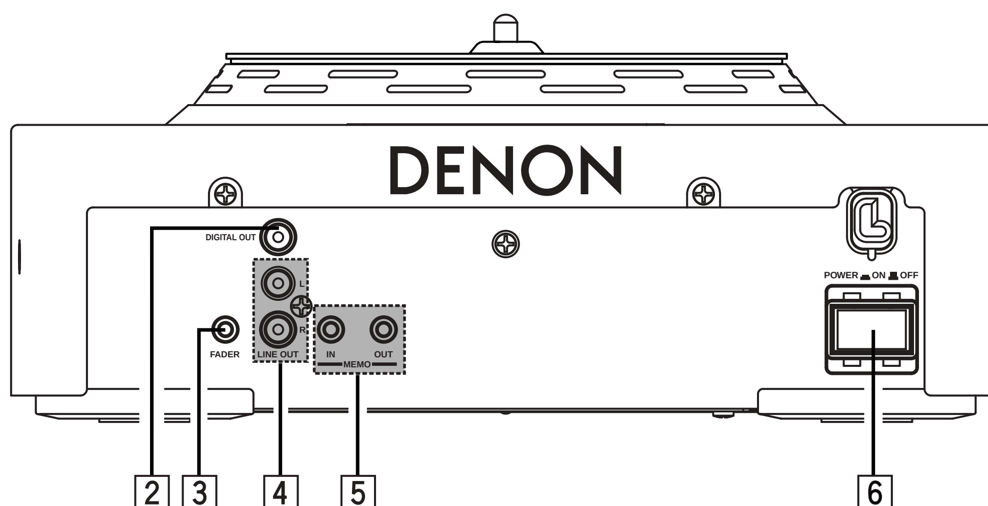
(1) フロントパネル



[1] ディスクローディングスロット

- CDを挿入します。スロット部にディスクをゆっくり入れて、ディスクが引き込まれ始めたらディスクから手を離してください。

(2) リアパネル



[2] デジタル出力端子（DIGITAL OUT）

- 接続には75Ωのピンコードを使用ください。

ご注意

デジタル出力をアナログに変換した後の再生レベルは、エフェクター使用時の再生レベル変化による再生出力のクリップを防止するため、通常再生レベルの－6dBとなります。

[3] フェーダー端子（FADER）

- フェーダー出力を備えたミキサーと接続する入力端子です。
- 3.5mmステレオミニプラグのコードを使用します。

[4] アナログ出力端子（LINE OUT）

- アンバランスタイプのRCA出力端子です。

[5] メモ端子（MEMO）

- お手持ちのDN-S3500、DN-S3000またはDN-S5000からMemoデータをコピーするときに使用します。

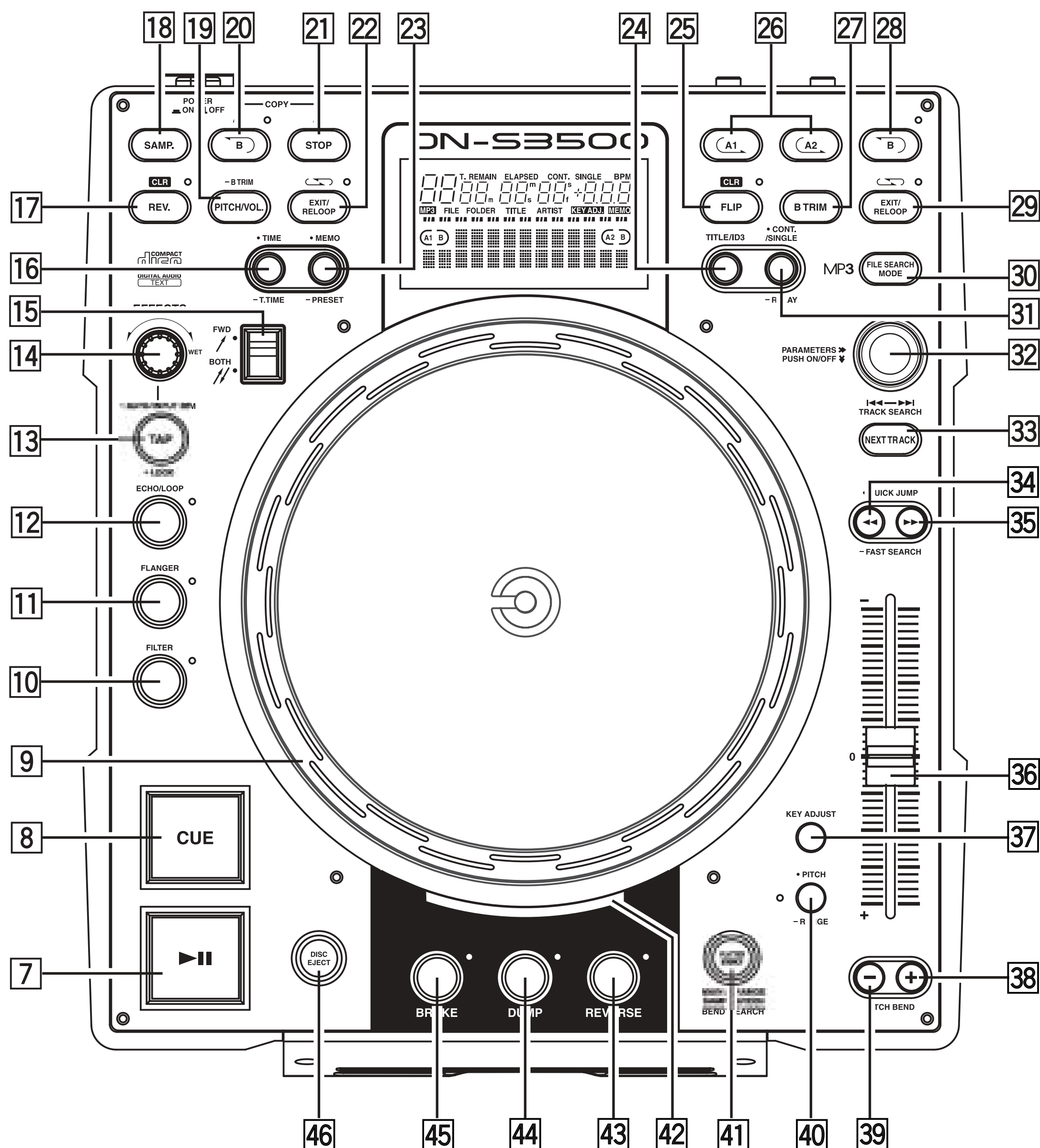
[6] POWERボタン

- 電源をON/OFFします。

お願い

ディスクローディング中およびイジェクト中は、電源を切らないでください。
CDメカニズムにダメージを与え、故障の原因になる恐れがあります。

(3) トップパネル


18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
17
29
16
30
15
31
14
32
13
33
34
12
35
11
10
9
36
8
37
7
38
46
45
44
43
42
41
40
39
DN-S3500
SAMP.
STOP
A1
A2
B
REV.
PITCH/VOL.
EXIT/ RELOOP
FLIP
B TRIM
TITLE/ID3
FILE SEARCH MODE
MP3
PARAMETERS
PUSH ON/OFF
TRACK SEARCH
NEXT TRACK
FAST SEARCH
ECHO/LOOP
FLANGER
FILTER
TAP
CUE
DISC EJECT
KEY ADJUST
PITCH
BRAKE
DUMP
REVERSE
FWD
BOTH
WET
COPY
CLR
T. REMAIN
ELAPSED
CONT.
SINGLE
BPM
FILE
FOLDER
TITLE
ARTIST
KEY ADJ.
MEMO
TIME
T.TIME
PRESET

お知らせ
DN-S3500では、短く押す場合と長く押す場合（1秒以上）で2通りの違った働きをするボタンがあります。・マークは短く押す場合のボタンの機能名、－マークは長く押す場合のボタンの機能名が記載されています。

7 プレイ/ポーズ ボタン（▶II）
- ボタンを押すと再生、ポーズを選択します。
- スタンバイ、ポーズ中にボタンを押すと再生を開始し、再生中にボタンを押すとポーズします。

8 CUE ボタン
- **CUE（バックキュー）：**
  再生中またはポーズ中にこのボタンを押すと再生を開始した位置（CUEポイント）に戻りスタンバイします。この機能をバックキューと呼びます。
- **スタッター：**
  スタンバイ中にこのボタンを押すと、ボタンを押している間、CUEポイントからの再生をおこないます。

9 プラッター/スクラッチディスク
マニュアルサーチ、ピッチベンド、スクラッチ再生に使用します。
- **プラッター：**
  PLATTER SOURCEボタンで選択したスクラッチソースの再生を開始するとプラッターが回転します。

お知らせ：
スクラッチソースがBEND/SEARCHのとき、プラッターは回転しません。
- **スクラッチ：**
  スクラッチディスクを回すと、PLATTER SOURCEで選択したソースのスクラッチ再生がおこなえます。

お願い：
プラッターが回転中、無理にプラッターの回転を止めないでください。プラッター回転メカニズムの故障の原因になる恐れがあります。また、プラッターの回転を無理に停止させると、回転を停止し、ポーズモードになります。

10 FILTER ボタン
ボタンを押すとフィルターがオンし、フィルターのパラメータ設定モードが選択されます。

11 FLANGER ボタン
ボタンを押すとフランジャーがオンし、フランジャーのパラメーター設定モードが選択されます。

12 ECHO/LOOP ボタン
ボタンを押すとエコーがオンし、エコー/ループのパラメーター設定モードが選択されます。

13 TAP、・LOCK、－AUTO/INPUT BPM ボタン
通常BPM（Beats Per Minute）の検出はオートBPMでおこなわれます。

ご注意：
曲によっては、BPMを測定できないことがあります。
- **TAP：**
  このボタンをBPMに合わせて繰り返し押すと、曲のBPMが入力、保持され、オートBPMがオフします。
- **LOCK：**
  オートBPMモードのときにボタンを1回だけ短く押すと、オートBPMモードがオフし、検出されたBPMが保持されます。
- **AUTO：**
  ボタンを1秒以上押し続けると（2秒未満）、オートBPMモードがオンします。
- **INPUT BPM：**
  ボタンを2秒以上押し続けると、EFFECTSノブでBPMを直接数値で入力することが可能なBPMデータ入力モードになり、オートBPMモードがオフします。
  再度ボタンを押すとBPMデータ入力モードがオフし、入力したBPMが保持されます。

お知らせ
INPUT BPMモードで入力するBPMは、再生スピード0%時の値になります。再生中トラックが変わったり、トラック選択をおこなうと、オートBPMモードに戻ります。

14 EFFECTS ノブ
- このノブを使用して、内部のエフェクターのパラメーターを設定してください。

15 スクラッチ再生方向選択 レバー
スクラッチ再生の再生方向を選択します。
- **BOTH（ボース）：**
  スクラッチディスクを回転させると、スクラッチ再生音がリバース、フォワードの両方向から出力されます。
- **FWD（フォワード）：**
  スクラッチディスクを回転させると、スクラッチ再生音がフォワード方向からのみ出力されます。

16 ・TIME ボタン、－T.TIME ボタン
- **TIME：**
  ボタンを短く押すと、ELAPSED（トラック経過時間）とREMAIN（トラック残量時間）から時間表示モードを選択します。
- **T.TIME：(CDのみ)**
  ボタンを1秒以上押し続けると、トータル時間表示モードのオン、オフを選択します。
  トータル時間表示モードがオンのとき、ボタンを短く押すと、ELAPSED（トラック経過時間）とREMAIN（トラック残量時間）、TOTAL ELAPSED（トータル経過時間）とTOTAL REMAIN（トータル残量時間）から時間表示モードを選択します。

各部の名前とはたらき（つづき）

⑰(SAMP.) REV./CLR ボタン
- **(SAMP.)REV.：**
サンプラー再生方向をフォワード、リバース方向から選択します。
リバース方向を選択すると、REV LEDが点灯します。
- **(SAMP.)CLR：**
このボタンを押しながらSAMPボタンを押すか、またはこのボタンを1秒以上押し続けると、SAMPデータを消去します。

⑱SAMP. ボタン
ボタンを押すとサンプラーの録音または再生を開始します。

⑲(SAMP.) PITCH/VOL.、－B TRIM ボタン
- **PITCH/VOL.：**
このボタンを押すと、サンプラー再生ピッチ調整モードが選択されます。
再び押すと、サンプラーの再生出力レベル調整モードが選択されます。
- **B TRIM：**
このボタンを0.5秒以上押すと、サンプラーのBポイント調整モードが選択されます。

⑳(SAMP.) B ボタン
サンプラーループの終了点Bポイントを設定します。

㉑(SAMP.) STOP ボタン
サンプラー録音または再生中にこのボタンを押すと、サンプラー録音または再生を停止します。
サンプラーが停止中のときはサンプラーのスターターとして機能します。

㉒(SAMP.) EXIT/RELOOP ボタン
サンプラーループモードのオン、オフを選択します。
また、ループ再生中は、ループを一時的にオフし通常再生に戻るイグジット、イグジットからループ再生に戻るリループ機能を選択します。

㉓・MEMO、－PRESET ボタン
- **MEMO：**
スタンバイ中にボタンを短く押すとメモモードになり、PARAMETERSノブでメモの記憶、呼び出しなどを選択します。
- **PRESET：**
ポーズ、スタンバイ、ノーディスク状態でボタンを1秒以上押し続けると、プリセットモードになり、PARAMETERSノブでプリセットの項目選択、データ設定が可能になります。

㉔TITLE/ID3 ボタン
- **CDテキスト：**
CDテキストデータがあるときボタンを押すと、CDテキストデータが表示されます。
表示終了後、元の表示に戻ります。
テキストデータがない場合はNo TEXTと表示されます。
- **MP3：**
ファイルデータおよびID3-Tagデータがあるときボタンを押すと、押すたびにファイルネーム表示、フォルダーネーム表示、タイトル表示、アーティスト表示、アルバム表示が選択表示されます。

㉕FLIP/CLR ボタン
- **FLIP：**
A1またはA2ボタンの動作モードをホットスタートモード、スタッターモードから選択します。
ホットスタートモードを選択すると、H/Sが表示し、スタッターモードを選択すると、STRを表示します。
- **CLR：**
このボタンを押しながらA1またはA2ボタンを押すと選択したAポイントおよびBポイントを消去します。このボタンを1秒以上押し続けると、すべてのA、Bポイントを消去します。

㉖A1 ボタン、A2 ボタン
ホットスタート、シームレスループ、スタッター再生で使用します。

㉗B トリム
このボタンを押すと、シームレスループのBポイント調整モードになります。

㉘B ボタン
A1またはA2ボタンの内、最後に押したAボタンのシームレスループ終了点Bポイントを設定します。

㉙EXIT/RELOOP ボタン
シームレスループ再生中にボタンを押すと、ループを一時的にオフし通常再生に戻るイグジット機能を選択し、イグジットからループ再生に戻るリループ機能を選択します。

㉚FILE SEARCH MODE ボタン (MP3ディスク専用)
このノブを押すと、ファイル検索手段の選択モードになります。

31・CONT./SINGLE、－RELAYボタン

- **CONT./SINGLE：**
  ボタンを短く押すと、連続再生モードとシングル再生モードから再生モードを選択します。
  CONT.（連続再生モード）：
  再生を開始すると、最終トラックのエンドまで再生を継続して再生を終了します。
  SINGLE（シングル再生モード）：
  再生を開始すると、再生を開始したトラックのエンドまで再生を継続して再生を終了します。
  Single play lock
  （シングル再生&プレイロック）：
  シングル再生＆プレイロックを選択すると、再生モードはシングル再生モードですが、再生中、トラック選択が禁止されますので、誤ってトラック選択を行い、再生を停止させることを防止できます。
- **RELAY：**
  ボタンを1秒以上押し続けると、リレーモードのオン、オフを選択します。リレー再生は2台のDN-S3500をMEMOのIN/OUT端子間で接続すると行えます。

32TRACK/PARAMETERSノブ

- **TRACK：**
  PARAMETERS LEDが点灯しているとき、ノブを回すとトラック選択をおこないます。
  ノブを押しながら回すと、10トラック飛びでトラック選択をおこないます。
- **PARAMETERS（PM）：**
  PARAMETERS LEDが点滅しているときにノブを回すと、プラッターエフェクト、メモ、プリセットなどのパラメータやデータ選択をおこないます。

33NEXT TRACKボタン

- 再生中ボタンを押すとネクストトラックリザーブモードが選択されます。
  ネクストトラックリザーブモードになると、NEXT TRACKボタンが点滅します。
- ネクストトラックリザーブモードのとき、パラメーターノブで次に再生するトラック、またはファイルを選択できます。

34 35 QUICK JUMPボタン、－FAST SEARCHボタン（◀◀,▶▶）

- **QUICK JUMP**
  ◀◀ボタンを短く押すと再生位置が指定時間手前にジャンプします。
  ▶▶ボタンを短く押すと再生位置が指定時間先にジャンプします。
  指定時間は『プリセット（6）Jump Time』で選択できます。33ページの『プリセット機能』参照ください。
- **FAST SEARCH**
  ◀◀ボタンを押し続けると、通常再生方向とは逆方向に早送り再生をおこないます。
  ▶▶ボタンを押し続けると、通常再生方向に早送りをおこないます。

36ピッチスライダー

- このスライダーで再生スピードを調整します。
- スライダーを上方向に動かすと再生スピードが遅くなり、下方向に動かすと再生スピードが速くなります。

37KEY ADJUSTボタン

このボタンを押すと、キーアジャストオン、オフが選択されます。

38PITCH BEND ＋ボタン

39PITCH BEND －ボタン

- これらのボタンを押すと、一時的に再生スピードを変えることができます。
- PITCH BEND ＋ボタンを押している間は、再生スピードを上げ、PITCH BEND －ボタンを押している間は、再生スピードを下げます。
- ボタンから手を離すと元の再生スピードに戻ります。

40・PITCH、－RANGE ボタン

- **PITCH：**
  ボタンを短く押すと、押すたびにピッチオン、オフが選択されます。
  ピッチがオンすると、PITCH LEDが点灯します。
- **RANGE：**
  ボタンを1秒以上押し続けると、PARAMETERSノブでピッチレンジを±4%、±10%、±16%、±24%、±50%、±100%からの選択が可能になります。

41PLATTER SOURCE ボタン

スクラッチディスクでスクラッチ再生を行うソースと、マニュアルサーチ動作を行うモードを選択します。

- **MAIN：**
  メイントラックをスクラッチ再生します。ボタンがオレンジ色に点灯します。
- **SAMP：**
  (サンプルが録音されている場合にだけ選択できます。)
  サンプラーをスクラッチ再生します。ボタンが緑色に点灯します。
- **BEND/SEARCH：**
  もう一度このボタンを押すとベンド/マニュアルサーチモードになります。再生中にスクラッチディスクを回すとピッチベンド機能として働きます。スタンバイ中、ポーズ中にスクラッチディスクを回すと、マニュアルサーチとして機能します。マニュアルサーチでは、フレーム単位(1/75秒)でサーチすることができます。

42 プラッター LED
スクラッチメモリやプラッターのモードの状態をこのLEDによって知らせます。

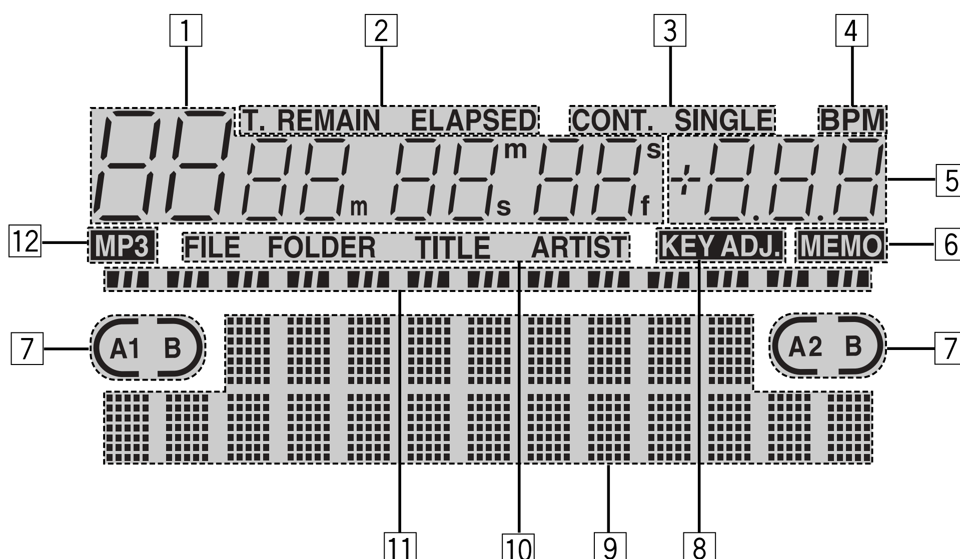
43 REVERSE ボタン
ボタンを押すとリバースモードが選択されます。

44 DUMP ボタン
ボタンを押すとDUMPのプラッターエフェクトが選択されます。

45 BRAKE ボタン
ボタンを押すとブレーキモードが選択されます。

46 DISC EJECT ボタン
- ボタンを押すと、ディスクがイジェクトされます。再生中は、イジェクトロックされます。

(4) ディスプレイ



1 トラック、分、秒、フレーム表示
- これらは現在再生している位置や、スタンバイしている位置を表示します。

2 間表示モード
- TIMEボタンが押されたとき以下のように切り替わり表示します。
  ELAPSED：
  トラックの経過時間が表示されます。
  REMAIN：
  トラックの残量時間が表示されます。
  T.ELAPSED：
  ディスクのトータルの経過時間が表示されます。
  T.REMAIN：
  ディスクのトータルの残量時間が表示されます。

3 PLAYモード表示
- シングル再生モードおよびシングル再生＆プレイロックモードのとき “ SINGLE ” 表示が点灯します。
- 連続再生モードのとき “ CONT. ” 表示が点灯します。

4 BPM表示
- Pitch表示部にBPMが表示されるときに点灯します。

5 Pitch表示
- 再生スピード（ピッチ）を表示します。

6 MEMO表示
- 再生中またはスタンバイ中のトラックにメモデータが記憶されているとき、“ MEMO ” 表示が点灯します。また、ディスクをセットしたとき、ディスクにメモが記憶されていると、“ MEMO ” 表示が点滅します。

7 ループモード表示
- DN-S3500は、ループモード表示としてのAとB、2個のループ表示があります。AとB表示は、A、Bが設定されると表示されます。
- 2個の矢印は以下のようなループモードを示します。

例：A、B

A1 B または A1 B

左側の矢印が点灯：ホットスタートモード

A1 B

両方の矢印が点灯：シームレスループモード

A1 B、

両方の矢印が点滅：シームレスループ再生中

A1 B、

右側の矢印のみが点滅：
シームレスループ一時中断中（イグジット中）

各部の名前とはたらき（つづき）

8 KEY ADJUST表示

- キーアジャストモードのとき、“ KEY ADJ. ” 表示が点灯します。

9 キャラクター表示

- DN-S3500は、モードの選択などキャラクター表示に従いPARAMETERSノブを用い操作できます。PARAMETERSノブ入力が可能なときは、PARAMETERS LEDが点滅します。

お知らせ

キャラクター表示には、動作、モード名、データなどが表示されます。また、表示されるデータのサイドに“ » ”や“ ¥ ”が表示されます。
“ » ”は「PARAMETERSノブを回してください」
“ ¥ ”は「ボタンまたはPARAMETERSノブを押してください」の意味になります。

10 MP3ファイル検索モード表示

FILE：
ファイルネーム検索モード、ファイル＆フォルダー検索モードのとき点滅します。

FOLDER：
ファイル＆フォルダー検索モードのとき点滅します。

TITLE：
タイトルネーム検索モードのとき点滅します。

ARTIST：
アーティストネーム検索モードのとき点滅します。

11 再生位置表示

- 再生位置表示
  通常再生の時は白、リバース再生のときはオレンジ色の位置表示が点灯し、曲の位置を経過時間で表示します。
- 曲の終了位置までの時間が指定の時間以下になると、曲の残り時間（EOM）に合わせ再生位置表示が点滅し曲の終了を知らせます。

お知らせ

EOM時間は『プリセット（8）EOM Time』で選択できます。33ページの『プリセット機能』を参照ください。

- プラッターエフェクト、エフェクターのパラメーター設定モードのとき各パラメーターが表示されます。

12 MP3表示

- MP3ディスクを検出すると点灯します。

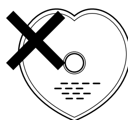
8 ディスクの取り扱いとご注意

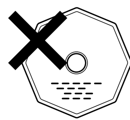
ディスクについて

本機では、右のマークが入ったディスクをご使用ください。



但し、ハート型や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

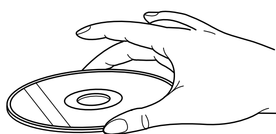




ディスクの持ちかた

ディスクを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

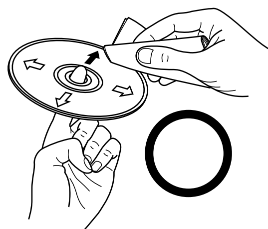
信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などを付けないようにしてください。

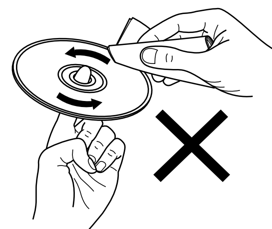


ディスクのお手入れのしかた

■ ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。ディスクの信号には影響しませんが、音質が低下したり音が途切れることがあります。

■ 拭き取るときは、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。


内周から外周方向へ軽く拭く。


円周に沿っては拭かない。

ディスクの取り扱いとご注意（つづき）

ディスクを装着する際のご注意

- ディスクは1枚だけローディングしてください。2枚以上重ねてローディングしますと故障の原因になり、ディスクを傷付けることにもなります。
- ディスクが引き込まれるときに、指を挟まないように注意してください。
- ディスク以外のものをディスクローディングスロットに入れないでください。
- ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものは使用しないでください。そのまま使用しますと、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。
- ディスクのラベル面が汚れている場合は、汚れを拭き取ってから使用ください。ディスクのローディング/イジェクト用のローラーに汚れが付着すると、ディスクのローディングおよびイジェクトが正常におこなえなくなることがあります。

ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。



取り扱いについてのご注意

- 指紋、油、ゴミなどを付けないでください。
- 表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと表面に水滴が付くことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  1．直射日光が長時間当たるところ
  2．湿気、ほこりなどが多いところ
  3．暖房器具などの熱が当たるところ

9 基本操作とスクラッチ再生

ディスクをセットする

- CDを1 ディスクローディングスロットに挿入すると、CDの先頭トラックにスタンバイします。
  スタンバイすると、8 CUEボタンが点灯します。
- オートキュー機能により、音声の立ち上がり位置にスタンバイします。『プリセット（2）Auto Cue』でオートキュー機能をON/OFFできます。

再生を開始する

- 7 ►IIボタンを押すと再生を開始します。
  再生を開始すると7 ►IIボタンが点灯します。

再生を一時停止する

- 再生中に7 ►IIボタンを押すとその位置にポーズします。ポーズすると7 ►IIボタンが点滅します。
  再び7 ►IIボタンを押すと、ポーズした位置から再生を開始します。再生を開始した位置がキューポイントになります。

- 41PLATTER SOURCEボタンで『MAIN』を選択している場合。
  再生中、9スクラッチディスクを指で押すと、その位置にポーズします。指を離すと、再び再生を開始します。

バックキューする

- ポーズ、再生中に8 CUEボタンを押すと、再生を開始した位置（キューポイント）にスタンバイします。スタンバイすると、CUEボタンが点灯します。（バックキュー）
  バックキューで、いつも同一位置から再生を開始することができます。
- スタンバイ中、8 CUEボタンを押すとスタッター再生をおこなうことができます。
- 以下の方法で、バックキューするキューポイントが設定されます。
  ・ポーズから再生を開始したとき
  ・トラックサーチをおこなったとき
  ・マニュアルサーチでキューポイントを設定したとき

基本操作とスクラッチ再生（つづき）

曲を選択する

- 32 トラック選択ノブを回します。
- 32 トラック選択ノブを押しながら回すと、10トラック単位でトラック選択できます。

SINGLE PLAY LOCK

- 再生中誤ってトラック選択をおこない、再生を停止させることを防止するため再生中トラック選択を禁止しています。
  解除するには • CONT./SINGLEボタンを短く押すことで設定を変更できます。16ページ『各部の名前とはたらき』、31 • CONT./SINGLE、 ━ RELAYボタンを参照ください。

キューポイントを移動する

曲の途中から再生を開始したいときは、クイックジャンプ、ファストサーチ、マニュアルサーチ機能でキューポイントを移動する必要があります。

1	34、35 ファストサーチボタンで再生を開始したい大凡の位置を捜します。 ● ▶▶,◀◀ボタンを短く押すと再生位置が10秒先、または後ろにジャンプします。 ● ▶▶,◀◀ボタンを押し続けると通常再生方向に早送り再生、または通常再生とは逆方向に早送り再生をおこないます。 **お知らせ：** クイックジャンプのジャンプ時間を『プリセット（6）Jump time』で選択できます。33ページの『プリセット機能』を参照ください。 • QUICK JUMP ━ FAST SEARCH
2	41PLATTER SOURCEボタンを押して『BEND/SEARCH』を選択します。 PLATTER SOURCE MAIN : OR SAMP. : GR BEND/SEARCH
3	スタンバイ、ポーズ状態から9スクラッチディスクを回すと、再生音を聞きながら、1フレーム単位でキューポイントを移動することができます。
4	8 CUEボタンを押すと、新しいキューポイントが設定されます。 ● 再度、41PLATTER SOURCE ボタンを押すとスクラッチディスクがスクラッチモードに戻ります。 CUE

再生スピード（ピッチ）を調整する

- ピッチスライダーで再生スピード（ピッチ）を調整することができます。
- キーアジャスト機能により、再生スピード（ピッチ）に関わらず、音程を一定に保つこともできます。

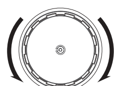
1	40 • PITCHボタンを短く押すと、PITCH LEDが点灯します。 • PITCH ━ RAN
2	36 ピッチスライダーを動かすと、再生スピードが調整されます。 ● 再生スピードはディスプレイに表示されます。
3	**ピッチレンジの選択** DN-S3500は4%、10%、16%、24%、50%、100%の6個のピッチレンジを持っています。 40 RANGEボタンを1秒以上押し続けます。 32PARAMETERSノブを回すとピッチレンジが選択できます。ノブを押すと選択したピッチレンジが確定されます。 **お知らせ：** MP3ディスクは最大で16%レンジまでです。 • PITCH ━ RAN
4	**キーアジャストをオンにする** KEY ADJUSTボタンを押すとキーアジャスト機能がオンし、“ KEY ADJ ” が点灯します。 **キーアジャストをオフにする** 再度KEY ADJUSTボタンを押すとキーアジャスト機能がオフし、“ KEY ADJ ” が消灯します。

再生スピード（ピッチ）を一時的に変化させる

- ピッチベンド機能で、一時的に再生スピードを変えることができます。DN-S3500はPITCH BENDボタン、スクラッチディスク、プラッターを用いた3種類のピッチベンド機能があります。

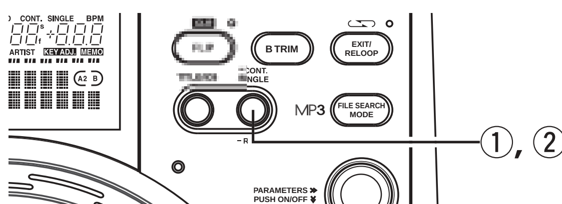
1	**【PITCH BENDボタン】** 38 PITCH BEND ＋ボタンを押している間、再生スピードを上げ、 39 PITCH BEND －ボタンを押している間、再生スピードを下げます。
2	**【プラッター、スクラッチディスク】** ● 41PLATTER SOURCEボタンで『MAIN』を選択し、プラッターが回転しているとき、9 スクラッチディスクまたはプラッターを軽く押さえると、再生速度を遅くすることができます。同様に、9 スクラッチディスクまたはプラッターをプラッターの回転方向に軽く押し出すと、再生速度を一時的に速くすることができます。

3	**【スクラッチディスク】** ● 41 PLATTER SOURCEボタンでBENDモードを選択し、再生中にスクラッチディスクを回すと、回転速度に合わせ再生スピードを変えることができます。 ● 9 スクラッチディスクをプラッター回転方向に回すと再生速度が速くなり、プラッター回転方向と逆に回すと再生速度が遅くなります。

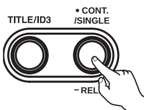


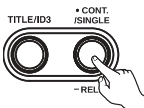
リレー再生

2台のDN-S3500をMEMO(IN/OUT) 端子間で接続し、リレー再生をおこなうことができます。



1	**リレーモードを選択する。** ① RELAYボタンを1秒以上押し続けると、リレー再生モードになります。 ● SINGLE再生モードのとき、トラックの再生が終了すると、次のトラックにスタンバイし、もう一方のDN-S3500に再生を開始させます。 ● CONTINUE再生モードのとき、最終トラックの再生が終了すると、もう一方のDN-S3500に再生を開始させます。 ● 両方のDN-S3500をリレー再生モードにすると、2台のDN-S3500を交互に再生することができます。 ② RELAY再生モードのとき、RELAYボタンを1秒以上押すと、RELAY再生モードがOFFします。



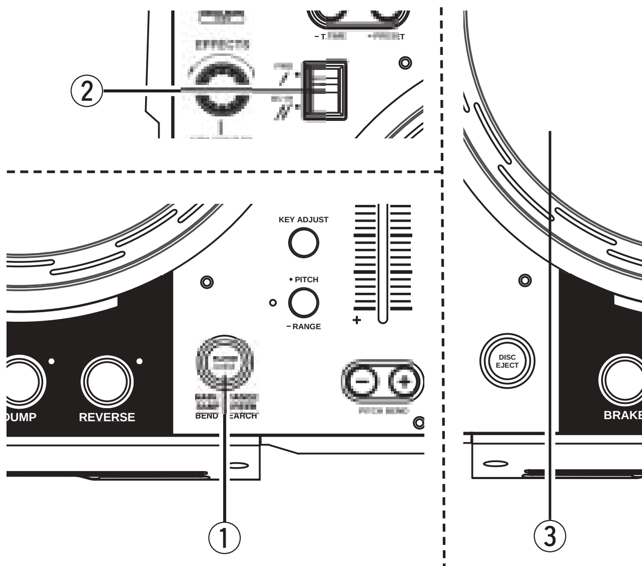


パワーオン再生

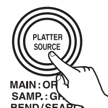
33ページの『プリセット（10）Power On Play』でONを選択し、ディスクをセットした状態で電源を投入すると、自動的に先頭トラックから再生を開始します。

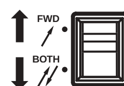
スクラッチ再生

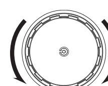
スクラッチソースとしてメイントラック、サンプラー(2ウェイスクラッチ)およびスクラッチ再生方向(両方向、フォワード方向)が選択できます。



1	**スクラッチ再生するソースを選択する。** ① PLATTER SOURCE ボタンを押し、スクラッチ再生するソースを選択します。 MAINを選択するとボタンがオレンジ色に点灯します。サンプラーを選択するとボタンが緑色に点灯します。(サンプラーに録音データがあるときのみ) ● 選択したソースが再生中の場合、プラッターが回転します。
2	**スクラッチ再生する方向を選択する。** ② スクラッチ再生方向選択レバーで、スクラッチ再生方向を選択します。
3	**スクラッチ再生を開始する。** ③ スクラッチソースに『MAIN』を選択し、スクラッチディスクを回すと、メイントラックのスクラッチ再生をおこないます。 ● スクラッチソースに『SAMP.』を選択し、スクラッチディスクを回すと、サンプラーのスクラッチ再生をおこないます。



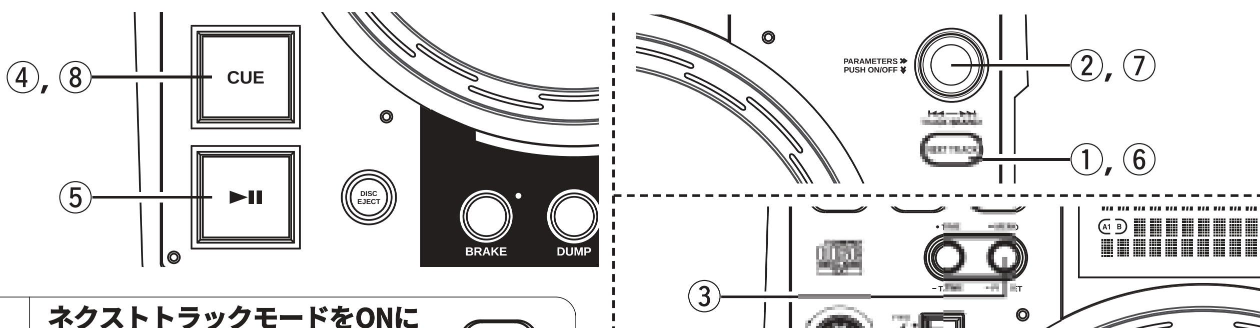




10 ネクストトラック機能の使いかた

ネクストトラックリザーブ機能の使いかた

あらかじめメモリ内に記憶した約10秒の先読みデータを再生中、次に再生するトラックの先頭にスタンバイし、再生を途切れさせせることなく、次のトラックの再生を開始させせることができます。



1

ネクストトラックモードをONにする。

① 再生中にNEXT TR. ボタンを押すとネクストトラックモードになります。

● 再度ボタンを押すとネクストトラックモードがオフします。

2

ネクストトラックを選択する。

② 次に再生したいトラックをパラメーターノブで選択します。

NEXT TRACK MEMO CALL

③ 選択したトラックにMEMOがある場合 " MEMO " がキャラクター表示部に表示されます。このときMEMOボタンを押すとNEXT TRACKとしてMEMOに記憶されているCUEポイントが選択されます。

● パラメーターを回すかMEMOボタン押すと選択したCUEポイントがキャンセルされます。

ご注意：

MP3のNEXT TRACK MEMO CALLは動作しません。

3

ネクストトラックを確定する。

④ トラック選択後、CUEボタンを押すと再生を継続したまま選択したトラックにサーチします。

サーチが終了しスタンバイするとネクストトラックの再生が可能になります。CUEボタンが点灯し、PLAY/PAUSEボタンが点滅します。また、タイム表示部に再生可能な残り時間が表示されます。

● CUEボタンを押さないとCONT.再生モードのときは現在再生しているトラックの再生が終了すると、選択したネクストトラックの先頭から再生を開始します。

● SINGLE 再生モードのときは、現在再生しているトラックの再生が終了すると選択したネクストトラックにスタンバイします。

4

ネクストトラックの再生を開始する。

⑤ PLAY/PAUSEボタンを押すと現在の再生を停止し、スタンバイ位置から新たな再生を開始します。

● PLAY/PAUSEボタンを押さない時は現在再生している先読みした再生データがなくなるとスタンバイ位置から新たな再生を開始します。

お知らせ：

ネクストトラックの再生を開始したとき、現在の再生をフェードアウトしながら終了することができます。フェードアウト時間を『プリセット（3）Next Tr Time』で選択できます。33ページの『プリセット機能』を参照ください。

5

ネクストトラックオートモード

⑥ 再生中にNEXT TRACKボタンを押すと、ネクストトラックモードになります。

⑦ PARAMETERSノブを２秒以上押し続けると、ネクストトラックオートモードになります。再生モードは、自動的に連続再生モードになります。

⑧ CUEボタンを押すと、ネクストトラックオートモードが開始します。ネクストトラックオートモード中は、NEXT TRACKボタンが点滅します。

お知らせ：

ポーズ、CUE、ホットスタートまたは曲の変更で、ネクストトラックオートモードの再生を中断した場合は、ネクストトラックオートモードは解除され、通常の再生モードになります。

11 シームレスループ/ホットスタート/スタッター

シームレスループ/ホットスタート/スタッター再生をおこなうには

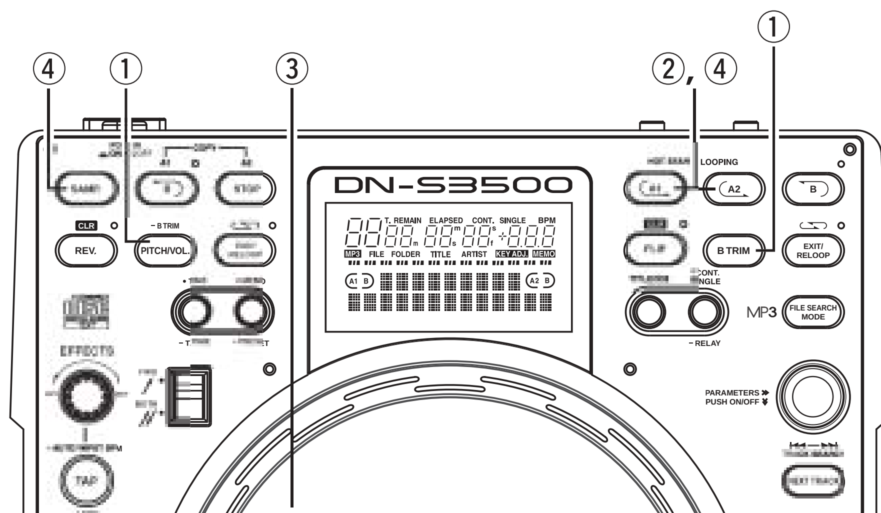
A1、A2 2個のホットスタート、スタッターポイントを設定する事ができます。
またA1-B1、A2-B2の2個のシームレスループポイントを設定することができます。



1	**Aポイントを設定する。** ① A1ボタンまたはA2ボタンを押すと、押した位置にAポイントが設定されます。 ● A点を設定すると、Aボタン、“ ⊂ ”表示が点灯し、ホットスタートモードになります。
2	**ホットスタート再生を開始する。** ② Aポイントを設定済みのAボタンを押すと、Aポイントからホットスタート再生を開始します。
3	**シームレスループを開始する（Bポイントを設定する）。** ③ Aポイントを設定後またはホットスタート再生開始後、Bボタンを押すと、Bポイントが設定され、Aポイントからシームレスループ再生を開始します。 ● Bポイントが設定されると“ B ”と“ ⊃ ”表示が点灯します。 ● Bポイントを設定した後、再びBボタンを押すと、押された位置にBポイントを移動できます。 **お知らせ：** ● 設定したシームレスループBポイントはBトリムモードで微調整することができます。24ページの『Bトリム機能』を参照ください。
4	**シームレスループ再生をおこなう。** ● 再生中、Bポイントを検出すると検出したBポイントのAポイントからシームレスループ再生を開始します。 ● スタッターモードのときは、シームレスループ再生はおこないません。
5	**シームレスループを一時オフする。** ④ EXIT/RELOOPボタンでシームレスループのオン/オフを選択できます。 **EXIT（オフ）** シームレスループ中にEXIT/RELOOPボタンを押すと、ループを一時オフし通常再生（EXIT）に移行します。 **RELOOP（オフ解除）** EXIT中にEXIT/RELOOPボタンを押すと、Aポイントからループ再生を開始（RELOOP）します。
6	**スタッター再生をおこなう。** ⑤ FLIPボタンを押すと“ ⊂ ”、“ ⊃ ”表示が消灯し、Aボタンがスタッターモードになります。 ⑥ Aボタンを押すと、Aポイントからスタッター再生を開始します。 ● Aボタンを押している間再生を継続します。 ● スタッター再生終了後、PLAY/PAUSEボタンを押すとスタッター再生をおこなった、Aポイントから再生を開始します。
7	**A、Bポイントを消去する。** ⑦ FLIPボタンを1秒以上押し続けるとA、Bのすべてのポイントが一括消去されます。 ● FLIPボタンを押しながらA1ボタンを押すとA1、B1ポイントが消去されます。 ● FLIPボタンを押しながらA2ボタンを押すとA2、B2ポイントが消去されます。 ● FLIPボタンを押しながらBボタンを押すと最後に操作したAボタンのBポイントのみ消去されます。

12 Bトリム機能

● シームレスループとサンプラーのBポイントの位置をスクラッチディスクで微調整することができます。
● ループ再生をおこない、再生音を聞きながら微調整することができます。

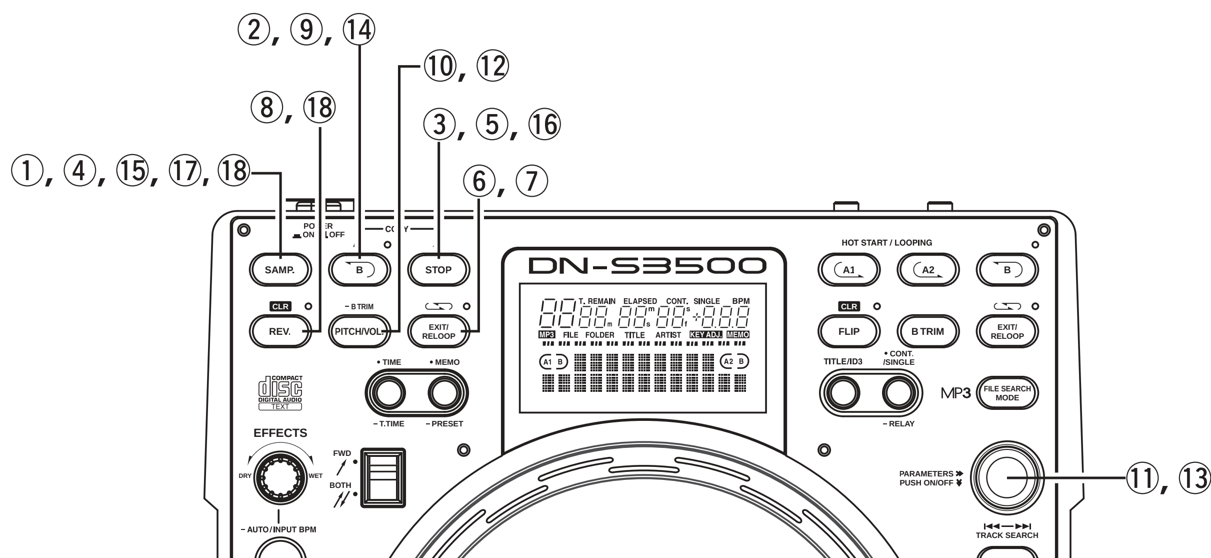


Bトリムモードで調整をおこなうには

1	**Bトリムモードを選択する。** ① シームレスループの場合： シームレスループ再生中に B TRIMボタンを押すと、Bトリムモードがオンになります。 Bトリムモードを解除するには、もう一度Bトリムボタンを押してください。 ① サンプラーループの場合： サンプラーループ再生中にPITCH/VOLボタンを0.5秒以上押し続けると、サンプラーのBトリムモードがオンになります。
2	**トリムするBポイントを選択する。** ② A1またはA2ボタンを押してください。調整されるループのBポイントが選ばれます。
3	**Bポイントのトリムを開始する。** ③ スクラッチディスクを回転させると、1フレーム単位でBポイントを調整することができます。 **【調整範囲】** シームレスループのBポイントの調整範囲： Aポイントの5フレーム後からディスクのエンドまで。 サンプラーループのBポイントの調整範囲： Aポイントの5フレーム後からサンプラーのエンドまで。 MP3ディスクの場合： Aポイントの5フレーム後からBポイントが設定されているファイルエンドまで。
4	**調整したBポイントを確定する。** ④ 再度Aポイントを押すか、SAMPボタンを押すとBポイントが確定されます。

13 サンプラー

サンプラーの再生をおこなうには



1　サンプラーデータを録音する。

① スタンバイまたは再生中にSAMP. ボタンを押すと、ボタンが点滅し、録音を開始します。

- SAMP. ボタンは録音している間は点滅し、ディスプレイに15秒間のカウントダウンが表示されます。
- 録音が終了するとSAMP. ボタンが消灯し、SAMP B LEDが点灯します。

2　サンプラーループのBポイントを設定する。

② サンプラーの録音中にBボタンを押すと、サンプラーループのBポイントが設定され、ループモードがONします。

- Bポイントを設定しても、録音は停止せず15秒間録音を続けます。
- Bポイントを設定しないと、録音したデータの最後がBポイントとなります。

3　サンプラーデータの録音を途中で停止させる。

③ STOPボタンを押すと、録音を停止します。

4　サンプラー再生を開始する。

④ 録音終了後、SAMP. ボタンを押すとサンプラー再生を開始し、ループで再生を続けます。

5　サンプラー再生を停止する。

⑤ STOPボタンを押すと、サンプラー再生を停止します。

- サンプラーがストップモードのときにSTOPボタンを押すと、サンプラーデータのスタッター再生ができます。

6　サンプラー再生モードを選択する。

⑥ サンプラー再生停止中、EXIT/RELOOPボタンで下記の3種類のサンプラーループモードが選択できます。

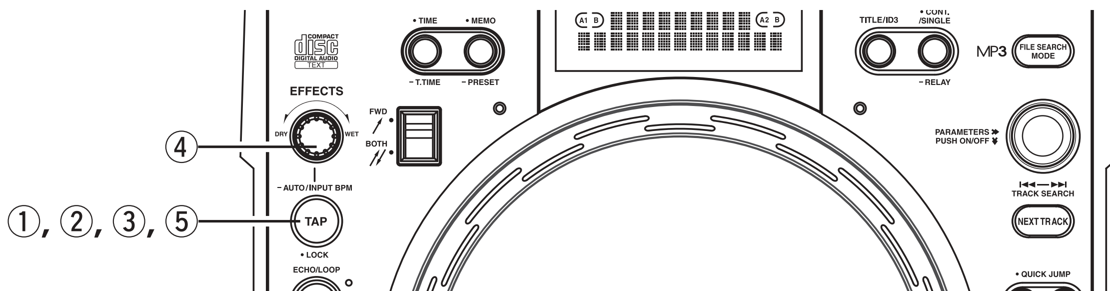
- Loop！（初期設定）：
  サンプラー再生開始ポイント（録音開始ポイント）とサンプラーBポイント間のループ再生を続けます。（EXIT/RELOOP LEDは点灯）
- Single All！：
  サンプラーBポイントを無視し、全てのサンプラーの録音データを再生し、停止します。（EXIT/RELOOP LEDは点滅）
- Single B！：
  サンプラーBポイントまで再生し、停止します。（EXIT/RELOOP LEDは消灯）

サンプラー（つづき）

7	**サンプラーループ再生をおこなう。** ⑦ サンプラー再生中、EXIT/RELOOPボタンで、通常のシームレスループと同じ操作でサンプラーのEXIT、RELOOP再生を行うことができます。 ● サンプラー再生中、サンプラーのシングルを選択することはできません。
8	**サンプラーリバース再生をおこなう。** ⑧ REV.ボタンでリバース再生のオン/オフが選択できます。リバース再生モードになると、REV. LEDが点灯します。 ● リバースモードがONのとき、SAMP. ボタンを押すとリバース再生を行います。
9	**サンプラーBポイントを移動する。** ⑨ サンプラー再生中にBボタンを押すと、ボタンが押された位置にBポイントが移動し、Aポイントからループ再生を開始します。 **お知らせ：** ● 設定したサンプラーのBポイントは、Bトリムモードで微調整することができます。24ページの『Bトリム機能』を参照ください。
10	**サンプラーの再生スピードを調整する。** ⑩ (SAMP.)PITCH/VOL. ボタンを短く一回押すと、サンプラーの再生スピード設定モードになります。 ⑪ PARAMETERSノブでサンプラーの再生スピードを調整できます。 ● 可変ピッチ幅は±24%（0.1%レンジ）です。ノブを押しながら回すと1%レンジで調整できます。 ● 再度（SAMP.）PITCH/VOL. ボタンを押すと再生スピードを確定し、サンプラーの再生レベル設定モードに移ります。
11	**サンプラーの再生レベルを調整する。** ⑫ サンプラーの再生スピード設定モード中に、再度（SAMP.）PITCH/VOL. ボタンを押すと再生スピードを確定し、サンプラーの再生レベル設定モードに移ります。 ⑬ PARAMETERSノブでサンプラーの再生レベルを調整できます。(可変レベルは-14〜+6ｄB) ● このときSAMP. ボタンを押すと、サンプラー再生レベルを確認しながら調整できます。 ● 再度（SAMP.）PITCH/VOL. ボタンを押すと再生レベルを確定し、調整が終了します。
12	**A1/A2ループの音をコピーする。** あらかじめ設定されているA1/A2ポイントから15秒間の音をサンプラーへコピーできます。 **A1からコピー：** ⑭ サンプラーBボタンを押すと、“ SAMP. < A1 ” と “ Copy/Push Samp ” が表示されます。 ⑮ そのときにSAMP. ボタンを押すと、コピーが完了します。 **A2からコピー：** ⑯ サンプラーSTOPボタンを押すと、“ SAMP. < A2 ” と “ Copy/Push Samp ” が表示されます。 ⑰ そのときにSAMP. ボタンを押すと、コピーが完了します。 **お知らせ：** サンプラーデータが既にあるときは、コピーできません。 ● シームレスループが15秒以上の場合は、CUEモードにしなければコピーできません。 ● CUEモードにすると、A1/A2のホットスタート位置から15秒だけコピーできます。
13	**サンプラーデータを消去する。** ⑱ サンプラーがストップ中に、REV./(CLR)ボタンを押しながらSAMP. ボタンを押すと、サンプラーデータが消去されます。 ● また、REV./(CLR)ボタンを1秒以上押し続けてもサンプラーデータを消去できます。

14 オートBPM、エフェクター

BPMを設定するには



AUTO BPM COUNTER

再生中のトラックのBPMを自動計測して表示します。
計測したBPMは、エフェクター（ECHO/LOOP、FLANGER)のパラメーター（タイム）と連動します。
● オートBPMカウンターがオフしているとき、TAPボタンを約1秒押しつづけるとオートBPMカウンターがオンします。
● オートBPMカウンターがオフしているとき、トラックがかわると、オートBPMカウンターがオンします。

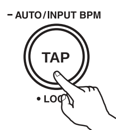
ご注意

曲によっては、BPMを正しく自動計測できない場合があります。

1

BPM LOCK：

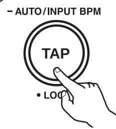
オートBPMカウンターをオフして、オフしたときのBPMを保持します。
● 曲の途中で一時的に曲調が変化する場合などに有効です。
① TAPボタンを短く1回押します。



2

TAPPING：

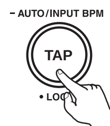
オートBPMカウンターをオフして、マニュアルでBPMを入力できます。
● 曲によっては、自動計測に時間がかかる場合があります。TAPボタンで入力すると短時間でBPMを入力することができます。
② 曲のビートに合わせ、TAPボタンを繰り返し押して入力します。

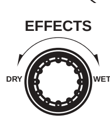


3

MANUAL INPUT：

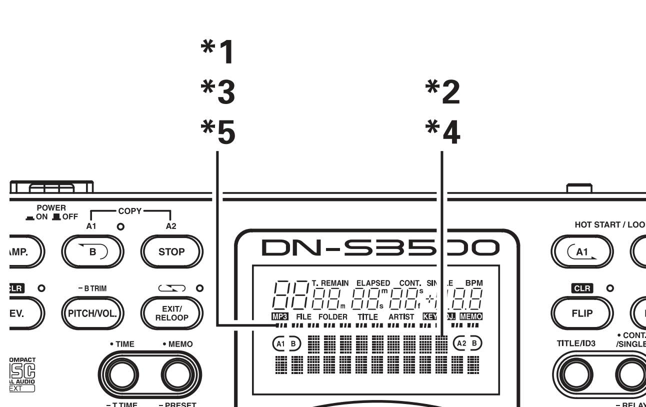
オートBPMカウンターをオフして数値でBPMを入力できます。
● ディスク等に記載されているBPMの数値を直接入力することができます。
③ TAPボタンを2秒以上押しつづけると、マニュアル入力モードになります。“ Manual In ” と表示されます。
④ EFFECTSノブを回し、BPMを入力します。
⑤ TAPボタンを再度押すと、入力したBPMが確定し、マニュアル入力モードがオフします。

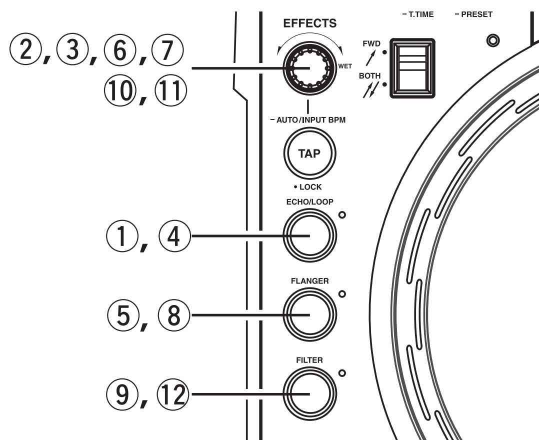




エフェクター

● 好みのエフェクターを1種類選択できます。





1

ECHO/LOOP：
エコー／ループをオンする。
ECHO/LOOP
① ECHO/LOOP ボタンを押すと、エコー/ループがオンし、パラメータ選択モードになります。
● エコー／ループがすでにオンしているとき、ECHO/LOOPボタンを押すかEFFECTS ノブを押すか回すとパラメータ選択モードになります。

エコー/ループのパラメータを設定する。
② パラメータ選択モードのとき、ECHO/LOOP LEDとPARAMETERS LEDが点滅しエコー/ループのパラメータが選択できます。
EFFECTS DRY WET
残響回数：EFFECTS ノブで選択します。
*1：選択した残響回数は再生位置表示に表示されます。
残響音の時間：PARAMETERS ノブで選択します。
*4：キャラクター表示部に表示されます。
PARAMETERS PUSH ON/OFF TRACK SEARCH

LOOP：
残響回数を最大にすると、指定した残響音の時間でのループ再生を開始します。ループ再生を行いながら、トラックサーチや、ディスクを交換することができます。

LOOPフェードアウト：
● パラメーター選択モードでループ再生中にバックキューまたは、ネクストトラックモードを選択するとパラメーター選択モードがオフします。
● 次に再生するトラックを選択し通常の再生を開始するとループ再生がフェードアウトして停止します。ループ再生と通常の再生をソフトに入れ替えすることができます。

パラメーターモードをオフする
③ EFFECTS ノブを押すことによってEFFECTS ノブ、PARAMETERS ノブ、ディスプレイが通常の状態に戻ります。
EFFECTS DRY WET

エコー/ループをオフする。
ECHO/LOOP
④ ECHO/LOOPボタンを押すと、エコー/ループのパラメータ選択モードになります。
その間に、再度ECHO/LOOP ボタンを押すとエコー/ループがオフします。

2

FLANGER：
フランジャーをオンする。
FLANGER
⑤ FLANGER ボタンを押すと、フランジャーがオンし、パラメータ選択モードになります。
● フランジャーがすでにオンしているとき、FLANGER ボタンを押すかEFFECTS ノブを押すか回すとフランジャーのパラメータ選択モードになります。

2 つづき

フランジャーのパラメータを設定する。
⑥ パラメータ選択モードのとき、FLANGER LEDとPARAMETERS LEDが点滅し、フランジャーのパラメータが選択できます。
EFFECTS DRY WET PARAMETERS PUSH ON/OFF TRACK SEARCH
ゲイン：EFFECTSノブで選択します。
*2：選択したゲインは再生位置表示に表示されます。
タイム：PARAMETERSノブで選択します。
*5：キャラクター表示部に表示されます。

パラメーターモードをオフする
⑦ EFFECTSノブを押します。

フランジャーをオフする。
⑧ FLANGERボタンを押すと、フランジャーのパラメータ設定モードになります。その間に、再度FLANGERボタンを押すと、フランジャーがオフします。
FLANGER

3

FILTER：
フィルターをオンする。
FILTER
⑨ FILTERボタンを押すと、フィルターがオンしパラメータ設定モードになります。
● フィルターがすでにオンしているとき、FILTERボタンを押すかEFFECTSノブを押すか回すとフィルターのパラメータ設定モードになります。

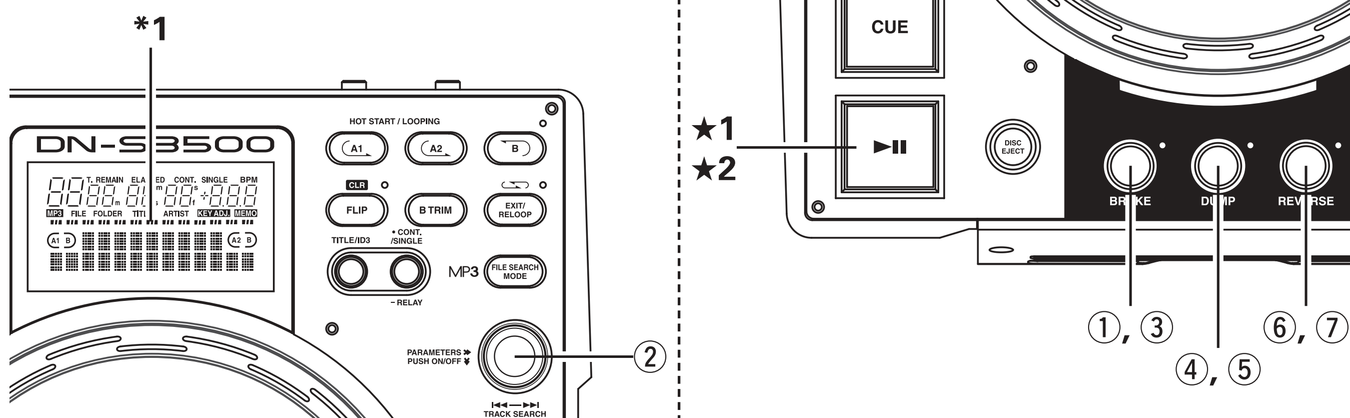
フィルターのパラメータを設定する。
⑩ パラメータ選択モードのとき、FILTER LEDとPARAMETER LEDが点滅し、フィルターのパラメータが選択できます。
EFFECTS DRY WET
周波数：EFFECTSノブで選択します。
*3：選択した周波数の状態が再生位置表示に表示されます。
PARAMETERS PUSH ON/OFF TRACK SEARCH
フィルターの種類
：PARAMETERS ノブで選択します。
*5：Low Pass/Mid Pass /High Passがキャラクタ表示されます。

パラメーターモードをオフする
⑪ EFFECTSノブを押します。
EFFECTS DRY WET

フィルターをオフする。
FILTER
⑫ FILTERボタンを押すとフィルターのパラメータ選択モードになります。その間に、再度FILTERボタンを押すとフィルターがオフします。

15 プラッターエフェクト

主にアナログターンテーブルの再生をシミュレートするエフェクト機能です。



1

【ブレーキ (BRAKE)】

ターンテーブルが再生状態からゆっくり再生を停止する状態をシミュレートします。

ブレーキモードをオンする

① BRAKEボタンを押すとブレーキモードがオンし、動作時間選択モードになります。

ブレーキの動作時間を選択する。

② 動作時間選択モードのとき、PARAMETERS LEDが点滅し、3秒間ブレーキ時間を調整することができます。この間、PARAMETERSノブでブレーキ時間が調整できます。

*1：動作時間が再生位置表示に表示されます。

● PARAMETER ノブで操作終了後3秒経過すると通常の状態に戻ります。また、ノブを押すことによっても通常の状態に戻すことができます。

ブレーキを動作させる

★1：ブレーキモードがオンの状態で、再生中に ►II ボタンを押すとブレーキ動作します。ブレーキ動作中に再度►II ボタンを押すとブレーキ動作を解除し、通常再生に戻ります。

ブレーキモードをオフする

③ BRAKE ボタンを押すとブレーキ時間選択モードになります。そのときに、再度BRAKEボタンを押すとブレーキモードがオフします。

2

【ダンプ (DUMP)】

リバース再生とフォワード（通常）再生を組合わせたエフェクト再生をおこなうことができます。

ダンプモードをオンする。

④ 再生中にDUMP ボタンを押すとダンプモードがオンします。

2 つづき

● ダンプ再生中、DUMPボタンを押すとダンプ再生と通常再生を切り換えることができます。

● ホットスタートやスタッター再生をおこなうと、通常再生に戻ります。

ダンプモードをオフする。

⑤ DUMPボタンを押すとダンプモードがオフします。

3

【リバース (RVS)】

リバース再生をおこなうことができます。プラッターもリバース方向に回転します。

リバースモードをオンする。

⑥ REVERSEボタンを押すとリバースモードがオンします。

リバース再生を開始させる。

★2：リバースモードがオンの状態で、►IIボタンを押すとリバース再生を開始します。
リバース再生中、REVERSE ボタンを押すとリバース再生と通常再生を切り換えることができます。
ホットスタートやスタッター再生をおこなうと、通常再生に戻ります。

リバースモードをオフする。

⑦ REVERSEボタンを押すとリバースモードがオフします。

16 MP3再生

DN-S3500は、下記の手順で作製されたMP3ディスクを再生することができます。

（1）再生可能なMP3ディスク

DN-S3500でMP3再生をおこなうには、下記のフォーマットに従ったMP3ディスクをご使用ください。

ご注意： 下記のフォーマットに従ったMP3ディスクでもMP3エンコーディングソフトやライティングソフトの種類によっては、ノイズが発生したり、再生できないことがあります。

Disc フォーマット	ファイル拡張子	.mp3　.MP3　.mP3　.Mp3
	ISO9660	レベル1（最大　8/ “ 8.3 ” 文字）
		レベル2（最大　31/30文字）
	Joliet	最大　64/64文字
	Romeo	最大　64/64文字
	CD-ROMセクターフォーマット	モード1のみ
	フォルダー構造	最大　8階層 **ご注意**：8階層を越えるフォルダーのファイルは再生できません。
	最大フォルダー数	ファイル数と同じ
	最大ファイル数	最大　999ファイル **ご注意**：999を越えたファイルは再生できません。
MP3 フォーマット	MPEG-1	Audio Layer-3 32-320kbps, f/s 44.1kHz
	ID-3タグ	V1.0、V1.1、V2.2、V2.3、V2.4
	エンコーディング	C.B.R、V.B.R
	ご注意：プレイリストはサポートしません。	
Disc書込方法	ディスクアットワンスまたはトラックアットワンス	
	マルチセッション	ファーストセッションがCDDAのときは、CDDAのみ再生します。 ファーストセッションがMP3のときは、MP3ファイルのみ再生します。
	ご注意：パケットライトはサポートしません。	

（2）MP3再生をおこなう

1 **表示**

- TIMEボタンで、ファイル経過時間表示、ファイル残量時間表示（C.B.R.ファイルのみ）を選択できます。トータル時間は選択できません。
- TITLEボタンを押すとファイルネーム、フォルダーネーム、ID3-Tagデータが選択表示されます。TITLEボタンを押すたびに、ファイルネーム表示、フォルダーネーム表示、タイトル表示、アーティストネーム表示、アルバムネーム表示が選択できます。

2 **再生**

- 再生、ポーズ、バックキューが可能です。
- ピッチレンジ：±4%、±10%、±16%
- ピッチベンド：±16%

2 つづき

ご注意：

- V.B.R.ファイルのときにバックキューをすると、ファイルの先頭にサーチしスタンバイします。

3 **マニュアルサーチ、ファストサーチ**

- C.B.Rファイルでのみ、マニュアルサーチ、ファストサーチをおこなうことができます。
- マニュアルサーチ、ファストサーチは選択されているファイル内でのみサーチ可能です。

ご注意：

- ファイルの圧縮率などによりサーチ速度が異なる場合があります。
- V.B.Rファイルのときは動作しません。

MP3再生（つづき）

4

ファイルサーチ、および
ファイルネーム検索

MP3ディスクのとき、FILE SEARCH MODE ボタンを押すと、以下のサーチモードが選択できます。



- ノブを回してサーチモードを選択します。再び、ノブを押すと確定されます。

(1) ファイルサーチ（File No.）

- トラックセレクトノブを回すと、ファイル番号順にファイルサーチを行います。
- トラックセレクトノブを押しながら回すと、10ファイル番号飛ばしでファイルサーチをおこないます。

(2) ファイル/フォルダーサーチ（Folder）

トラックセレクトノブを回すと、ファイル番号順にファイルサーチを行います。
トラックセレクトノブを押しながら回すと、フォルダー番号順にフォルダーサーチを行います。

(3) アーティストネームサーチ、
タイトルネームサーチ
(Artist Name、File Name)

ファイルネームにアーティストネーム、タイトルネームを以下のように記録してある場合、アーティストネーム、又は、タイトルネームをA、B、C順にネーム検索し、ファイルサーチすることができます。
アーティストータイトル、（アーティスト）（タイトル）、［アーティスト］［タイトル］の様に、アーティスト　ネーム、タイトルネームの順で、且つ、アーティストネームとタイトルネーム間に“ – ”、“（　）”、又は、“［　］”を記録すると、アーティストネーム、タイトルネームを検出しA、B、C順にネーム検索することができます。

ご注意：
これらのネームサーチは、ファイル名が指定のフォーマットで記録されていない場合は選択されません。

アーティストネームサーチ、
タイトルネームサーチの手順

①アーティストネームサーチ、又はタイトルネームサーチを選択し、トラックセレクトノブを押しながら回すと、ネームをA、B、C順にネーム検索します。
②A、B、C検索終了後、トラックセレクトノブを回すと、選択したアルファベットのネームからファイル番号順にファイル検索します。
③ファイル選択後、CUEボタンを押すと、選択したファイルにサーチしスタンバイします。

(4) ファイルネームサーチ（File Name）

ファイルネームをA、B、C順にネーム検索し、ファイルサーチすることができます。
①ファイルネームサーチを選択し、トラックセレクトノブを押しながら回すと、ファイルネームをアルファベット順に検索します。
②アルファベット検索終了後、トラックセレクトノブを回すと、選択したアルファベットのファイルネームからファイル番号順にファイル検索します。
③ファイル選択後、CUEボタンを押すと、選択したファイルにサーチしスタンバイします。

4 つづき

ご注意：
ファイルネームサーチは、ファイルネームが（3）のフォーマットで記録されていないときに選択されます。

5

ネクストトラック

- 通常のCDと同様の操作が可能です。
- ネクストトラック機能で各ファイル検索を用いファイルサーチすることができます。

6

スクラッチ再生

- スクラッチ再生が可能です。
- リバース方向のスクラッチ（バックスピン）は、リバース再生を開始した位置から最大10秒前まで可能です。

7

ホットスタート再生、
スタッター再生



- A、Bボタンでホットスタート、シームレスループ再生、スタッター再生を行うことができます。
- シームレスループのＡ点、Ｂ点は同一トラック（ファイル）内にのみ設定が可能です。

ご注意：
- V.B.Rファイルのときは動作しません。

8

プラッターエフェクト

- 通常のCDと同様の動作が可能です。
- リバース再生は、最大10秒間のリバース再生を行うと、通常再生に戻ります。

9

エフェクター

- 通常のCDと同様の操作が可能です。

10

メモ

- 通常のCDと同様の操作が可能です。

ご注意：
- ネクストトラック機能でのメモの呼び出しはできません。
- 記録されたファイルの条件によっては、正しく動作しない場合があります。

11

BPM ID3 タグ

- MP3ファイルに BPM ID3 タグ情報がある場合は自動的に読み込み、BPMデータに従ってBPMロックします。TAPボタンを1秒以上押すと、オートBPMモードに戻ることができます。

ご注意：
- 記録されたファイルの条件によっては、正しく動作しない場合があります。

17 メモ機能（カスタムセッティングメモリ）

あらかじめ、お好みのホットスタートポイントやシームレスループのA、Bポイントなどをメモリに記憶し、ライブなどでの短時間でのセッティングが必要な場合、データを呼び出し自動セッティングしてくれる機能です。

1．メモ機能について

● 1トラック1メモリとし、トータルで最大5000メモリが記憶できます。例えば、22トラックのディスクであれば、22個のメモが可能となります。

ご注意：

トラックメモ機能のメモリシステムは、500個のメモを1パッケージとして取り扱っています。（500メモを10パッケージ）このメモリシステムのメモリ消去は1パッケージ単位でおこなわれるため、1個のメモを消去した場合でもメモNo.は継続され、メモリ容量も増えません。そのため、実際に記憶できるメモ数が少なくなります。
5000個メモを記憶した場合、“ Memo Full ! ” のメッセージが表示されます。その場合、メモの古い順に1パッケージ（500個のメモ）のメモリを消去する必要があります。

※ MEMO表示は、メモデータが存在するディスクをセットすると、5秒間点滅します。また、メモデータが存在するトラックを選択すると点灯します。

2．メモリに記憶できるメモデータ

● 以下の項目が1メモリに記憶することができます。
CUEポイント、A1-B1ポイント、A2-B2ポイント、再生スピード、ピッチ オン/オフ、キーアジャスト オン/オフなど

3．メモデータを記憶する

① メモが記憶されていないトラックにスタンバイしたとき、MEMOボタンを押すと “ Memo Set? ” メモセットモードが選択されます。
※ 再度MEMOボタンを押すとメモセットモードがオフします。
② PARAMETERSノブを押すとメモが記憶されます。MEMO表示が点灯しメモモードがオフします。

メモデータが一杯になったら…

① メモデータが一杯になったら “ Memo Full ”、“ Delete 500? ” のメッセージが表示されます。
② この場合、古いメモから500個のメモリを消去し、新たなスペースを作る必要があります。
③ スペースを作るには、“ Delete 500? ” 表示のとき、PARAMETERSノブを押します。
④ 更に、“ Delete OK? ” 消去再確認のメッセージが表示されているとき、PARAMETERSノブを押すと500個のメモリが消去されます。

4．メモデータを呼び出す

① メモを記憶したトラックを選択しスタンバイします。メモが記憶されているとMEMO表示が点灯します。
② MEMOボタンを押すと “ MemoCall? ” メモ呼び出しモードが選択されます。
③ PARAMETERSノブを押すとDN-S3500はメモに記憶されたデータによりセッティングを開始します。セッティングが終了すると呼び出されたCUEポイントにスタンバイします。
※ メモで再生スピードが呼び出されると、実際の再生スピードとピッチスライダーで選択している再生スピードが異なるためピッチロックされます。この場合PITCH LEDが点滅し、実際の再生スピードとピッチスライダーで選択している再生スピードが異なることをお知らせします。これをピッチロックと呼びます。ピッチスライダーを動かし、ピッチ表示の値と同じ値を選択すると、PITCH LEDが点灯にかわりピッチロックが解除されます。

5．メモデータを消去する

① メモを呼び出す手順で、“ MemoCall? ” メモ呼び出しモードを選択します。
② PARAMETERSノブを回すと、“ Memo Clr ” メモ消去モードが選択されます。
③ PARAMETERSノブを押すとメモが消去されます。MEMO表示が消灯し、メモモードがオフします。

すべてのメモデータを一括消去する

● プリセットで一括消去することができます。33ページの『プリセット（14）MEMO ALL CLEAR』を参照ください。

6．メモデータをコピーする

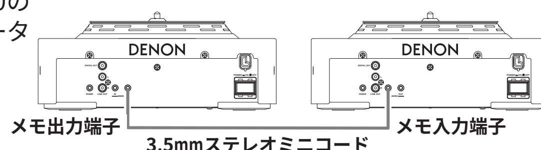
２台のDN-S3500、DN-S3500とDN-S3000または、DN-S3500とDN-S5000をMEMO IN/OUT間で接続し、メモデータをコピーすることができます。34ページの『プリセット（15）MEMO ALL COPY』を参照してください。

7．メモデータを共有する

２台のDN-S3500、DN-S3500とDN-S3000または、DN-S3500とDN-S5000をMEMO IN/OUT間で接続し、メモデータを共有することができます。メモデータを共有することで、最大10000メモリまで記憶が可能になります。

ご注意：

データが共有できるのは、ディスクがセットされているときだけです。
ディスクがセットされた後に修正されたメモは共有できません。
DN-S3500の他の機器（DN-S5000またはDN-S3000）がDN-S3500のピッチデータを使用すると、データの形式の違いにより、ピッチデータが異なる場合があります。



18 プリセット機能

電源投入時のデフォルト状態などを不揮発性メモリに記憶することができます。

1．プリセットするには

① スタンバイ、ポーズ、ノーディスク状態のとき、PRESET ボタンを1秒以上押し続けると、プリセットモードになります。
② PARAMETERSノブを回すとプリセット項目が選択されます。
③ 項目を選択したら、PARAMETERS ノブを押すとプリセットデータが選択されます。
④ 複数のプリセットを設定する場合、②〜③を繰り返します。
⑤ PRESETボタン、CUE ボタンまたはPLAY/PAUSE (▶ ❚❚) ボタンを押すとプリセットモードがオフします。

2．プリセットできる項目およびデータ

*印は、工場出荷時のデフォルトデータになります。

（1） Cue Mode：DENON*/Other
キューモードの選択。
DENON*：再生をプレイポーズモードから始めたとき、Cueポイントが設定されます。
Other(その他)：Cueボタンをプレイポーズモードの間に押したとき、Cueポイントが設定されます。

（2） Auto Cue：ON*/OFF
オートキューのON/OFF。

（3） Next Tr Time：OFF/1sec/2sec*/3sec
Next Trackで新たな再生を開始したとき、現在の再生のフェードアウト時間を選択します。

（4） Platter Speed：33rpm*/45rpm
プラッターの回転数（33回転/分、45回転/分）を選択します。

（5） 3/4 Effect：OFF*/ON
エフェクターのエコーとフランジャーのパラメーターを選択するとき、3/4ビート効果を使用することができます。

（6） Jump Time ： 10sec*/20sec/30sec/1min
クイックジャンプのジャンプ時間を選択します。

（7） Pitch Range ： ±4%/±10%*/±16%/±24%
電源投入時のピッチスライダーの再生スピードレンジを選択します。

（8） EOM（End Of Message） Time ： OFF/10sec*/15sec/20sec/30sec/60sec/90sec
曲の終了までの残り時間を設定します。再生中、曲の残り時間が設定された時間になると再生位置表示が点滅してお知らせします。

（9） Fader Mode (FADER START MODE) ： Play/Cue*/P/Pause
2線式（CUE、PLAY）、1線式（PLAY、PAUSE）を選択します。
● 1線式、2線式のフェーダーは接続するMIXERにより異なりますので、使用するMIXERにより選択ください。

（10） Power On Play ： ON/OFF*
ONを選択すると電源投入時、ディスクがセットされていた場合、再生を開始します。

（11） Pitch ： Pitch ON*/Key Adj ON(KEY ADJUST ON)/Pitch OFF
電源投入時のピッチモードを選択します。

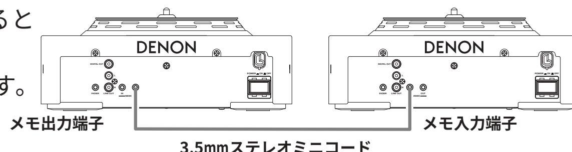
（12） Play Mode ： Single（シングル再生）/Cont.（連続再生）/Play Lock*（シングル再生＆プレイロック）
電源投入時の再生モードを選択します。
● シングル再生＆プレイロックを選択すると再生モードはシングル再生モードですが、再生中のトラック選択が禁止されますので誤ってトラック選択をおこない、再生を停止させることを防止できます。

（13） Time Mode ： Elapsed*（トラック経過時間）/Remain（トラック残量時間）/T.Elapsed（トータル経過時間）/T.Remain（トータル残量時間）
電源投入時のタイムモードを選択します。

（14） MEMO ALL CLEAR ：
メモリに記憶されたすべてのメモデータを一括消去します。
① メモデータを消去するには、PARAMETERS ノブを押します。
● “ Memo Clr？ ” の表示が点滅します。
② すべてのメモデータを消去する場合、“ Yes ” を選択し、再度PARAMETERS ノブを押してください。
● 消去中は “ Now Clearing！ ” が表示されます。
③ “ Complete！ ” が表示され、一括消去が完了します。

プリセット機能（つづき）

（15） MEMO ALL COPY ：
2台のDN-S3500、DN-S3500とDN-S3000または、DN-S3500とDN-S5000をMEMO IN/OUT間で接続し、メモデータをコピーすることができます。
お知らせ：
ディスクがイジェクトされているときのみ、このモードが選択されます。メモコピーを行うときは、ディスクをイジェクトしてください。ストレート3.5mmステレオミニコードでMEMO INとMEMO OUT端子を接続します。スレーブ側（コピーする側）のDN-S3500で以下の操作を行ってください。
① メモデータをコピーするには、“ Memo Copy ” 表示のとき、PARAMETERSノブを押して “ Yes ” を選択します
② “ Copy OK? ” 表示のとき、PARAMETERSノブを押して “ Yes ” を選択するとコピーが開始されます。
③ コピー中は、“ Now Copying ” が表示され、終了すると “ Complete! ” が表示されます。
コピーしたデータは、メモ用のメモリに追加記憶されます。



（16） Version No.(SYSTEM / DSP) ： Sys / Dsp
DN-S3500のソフトウェアバージョンを表示します。

（17） PRESET INITIALIZE ：
すべてのプリセットデータを工場出荷時の状態に設定します。
① プリセットデータをイニシャルするには、PARAMETERSノブを押します。
② “ Preset Int ” 表示のとき、PARAMETERSノブを押すとイニシャルが開始されます。
③ イニシャル中は、“ Preset Initial ” が表示され、終了すると “ Complete! ” が表示されます。

19 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■各接続は正しいですか
■取扱説明書に従って正しく操作していますか

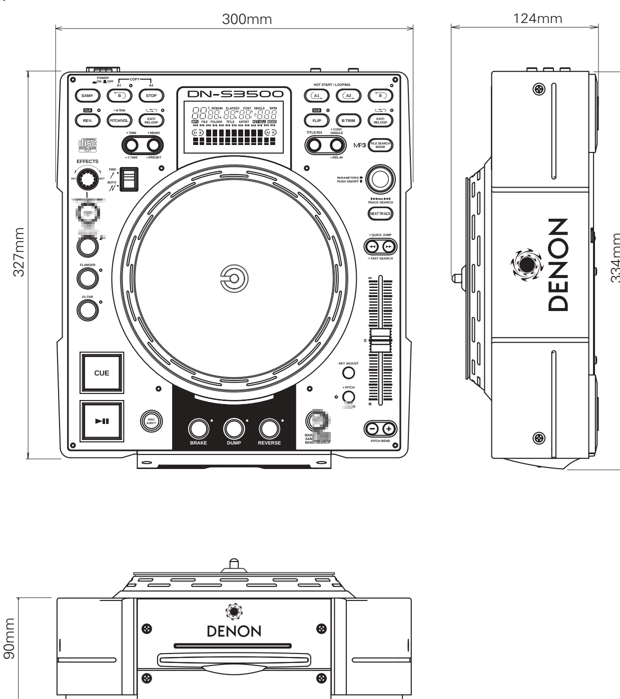
本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　　象	原　　因	処　　置	関連ページ
ディスクをローディングスロットに挿入できない。	●電源が入っていない。 ●すでにディスクがローディングされている。	●電源を入れてください。 ●ディスクをイジェクトしてから、新たなディスクをローディングしてください。	12 13、17
ディスクをイジェクトできない。	●電源が入っていない。 ●再生中。	●電源を入れてください。 ●再生を停止してください。	12 13、17
音が出ない。または歪む。	●出力コードが正しくミキサーに接続されていない。 ●ミキサーの調整・切り替えが不適切である。	●接続を確認してください。 ●ミキサーのつまみ類を調節してください。	11 ―
再生音が異常になる。	●エフェクターがオンしている。	●エフェクターをオフしてください。	27
再生を開始しない。	●スクラッチディスクの上に物が乗っている。 ●スクラッチディスクの下に異物が挟まっている。	●上に乗っている物を取り除いてください。 ●異物を取り除いてください。	― ―
“ Disc Error ”“ Format Err ” が表示される。	●ディスクが汚れていたり、傷が付いたりしている。 ●ディスクがCD-ROMなどのデータ用ディスクの場合。	●ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと取り替えてください。 ●ディスクを確認してください。	18〜19 ―

20 主な仕様

■総　合

形式	コンパクトディスクプレーヤー
使用ディスク	スタンダードコンパクトディスク（12cm）、CD-TEXT、CD-R、CD-RWディスク **ご注意：** DN-S3500はファイナライズされたCD-R、CD-RWディスクを再生することができます。但し、録音状態などにより、一部のCD-R、CD-RWディスクは再生できないことがあります。
外形寸法	300（幅）×124（高さ）×334（奥行き）mm
質量	5.5kg
電源電圧	AC100V±10%　50/60Hz
消費電力	17W
動作温度	＋5℃～＋35℃
動作湿度	25%～85%
保存温度	－20℃～60℃



■オーディオ部

標本化周波数	44.1kHz
量子化ビット数	16ビット
周波数特性	20Hz～20kHz
全高調波ひずみ率	0.01%以下
SN比	90dB以上
チャンネルセパレーション	85dB以上
アナログ出力	2.0Vr.m.s
デジタル出力	
出力フォーマット	IEC958 Type II
出力レベル	0.5Vp-p　75Ω

■機　能

音声立ち上がり時間	20msec以内
可変ピッチ幅	±4%（0.02%ピッチ）、±10%（0.05%ピッチ）、±16%（0.1%ピッチ） ±24%（0.1%ピッチ）、±50%（0.5%ピッチ）、±100%（1%ピッチ）
ピッチベンド	Cueモードが " DENON " の場合（Preset item(2)）： ボタン操作：ピッチレンジ ±4%～±24%のときは、±32%、 ピッチレンジ ±50%～±100%のときは、±99% プラッター操作：再生中のピッチの ±20% Cueモードが " Other " の場合（Preset item(2)）： ボタン操作、プラッター操作とも、再生中のピッチの±20%
サンプラー	
標本化周波数	44.1kHz
最長録音時間	15秒
出力レベル	2.0Vr.m.s (-14～+6db 可変)
可変ピッチ幅	±24%（0.1%ピッチ）
フレームサーチ精度	1/75sec（1フレーム）
最大メモステップ数	5000ステップ

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：03-6731-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。

購入店名：	電話（　-　-　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in Japan　00D 511 4419 003